




# Dell Latitude E7250

## オーナーズマニュアル

規制モデル: P225  
規制タイプ: P225002



# メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

**著作権 © 2015 Dell Inc. 無断転載を禁じます。** この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2015 -01

Rev. A00

# 目次

<b>1 コンピューター内部の作業</b> .....	<b>5</b>
コンピュータ内部の作業を始める前に.....	5
コンピュータの電源を切る.....	6
コンピュータ内部の作業を終えた後に.....	7
<b>2 コンピュータのドッキング</b> .....	<b>8</b>
<b>3 コンポーネントの取り外しと取り付け</b> .....	<b>9</b>
奨励するツール.....	9
システムの概要.....	10
バッテリーの取り外し.....	11
バッテリーの取り付け.....	12
ベースカバーの取り外し.....	12
ベースカバーの取り付け.....	13
SSD カードの取り外し.....	13
SSD カードの取り付け.....	14
WWAN カードの取り外し.....	14
WWAN カードの取り付け.....	14
WLAN カードの取り外し.....	14
WLAN カードの取り付け.....	15
キーボードトリムの取り外し.....	15
キーボードトリムの取り付け.....	16
キーボードの取り外し.....	16
キーボードの取り付け.....	18
パームレストの取り外し.....	18
パームレストの取り付け.....	20
SIM ボードの取り外し.....	20
SIM ボードの取り付け.....	21
スピーカーの取り外し.....	21
スピーカーの取り付け.....	22
ディスプレイヒンジカバーの取り外し.....	23
ディスプレイヒンジカバーの取り付け.....	24
ディスプレイアセンブリの取り外し.....	24
ディスプレイアセンブリの取り付け.....	26
システム基板の取り外し.....	27
システム基板の取り付け.....	28
ヒートシンクアセンブリの取り外し.....	29
ヒートシンクアセンブリの取り付け.....	30


コイン型電池の取り外し.....	30
コイン型電池の取り付け.....	31
<b>4 セットアップユーティリティ.....</b>	<b>32</b>
起動順序.....	32
ナビゲーションキー.....	32
セットアップユーティリティのオプション.....	33
BIOS のアップデート .....	44
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	44
システムパスワードおよびセットアップパスワードの割り当て.....	45
既存のシステムパスワードおよび / またはセットアップパスワードの削除または変更.....	45
<b>5 診断.....</b>	<b>47</b>
ePSA (強化された起動前システムアセスメント) 診断.....	47
デバイスステータスライト.....	48
バッテリーステータスライト.....	48
<b>6 Specifications.....</b>	<b>50</b>
<b>7 デルへのお問い合わせ.....</b>	<b>56</b>


# コンピューター内部の作業


## コンピューター内部の作業を始める前に


コンピューターの損傷を防ぎ、ユーザー個人の安全を守るため、以下の安全に関するガイドラインに従ってください。特記がない限り、本書に記載される各手順は、以下の条件を満たしていることを前提とします。


- コンピュータに付属の「安全に関する情報」を読んでいること。
- コンポーネントは交換可能であり、別売りの場合は取り外しの手順を逆順に実行すれば、取り付け可能であること。


 **警告:** すべての電源を外してから、コンピュータカバーまたはパネルを開きます。コンピュータ内部の作業が終わったら、カバー、パネル、ネジをすべて取り付けてから、電源に接続します。


 **警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、コンピュータに付属の「安全に関する情報」に目を通してください。安全に関するベストプラクティスについては、規制コンプライアンスに関するホームページ ([www.dell.com/regulatory\\_compliance](http://www.dell.com/regulatory_compliance)) を参照してください。

 **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

 **注意:** 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用するか、またはコンピュータの裏面にあるコネクタなどの塗装されていない金属面に定期的に触れて、静電気を身体から除去してください。

 **注意:** コンポーネントとカードは丁寧に取り扱いってください。コンポーネント、またはカードの接触面に触らないでください。カードは端、または金属のマウンティングブラケットを持ってください。プロセッサなどのコンポーネントはピンではなく、端を持ってください。

 **注意:** ケーブルを外す場合は、ケーブルのコネクタかプルタブを持って引き、ケーブル自体を引っ張らないでください。コネクタにロックングタブが付いているケーブルもあります。この場合、ケーブルを外す前にロックングタブを押さえてください。コネクタを引き抜く場合、コネクタピンが曲がらないように、均一に力をかけてください。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが同じ方向を向き、きちんと並んでいることを確認してください。

 **メモ:** お使いのコンピュータの色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

コンピューターの損傷を防ぐため、コンピューター内部の作業を始める前に、次の手順を実行してください。

1. コンピュータのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
2. コンピュータの電源を切ります（「コンピューターの電源を切る」を参照）。
3. コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングを解除します。

△ 注意: ネットワークケーブルを外すには、まずケーブルのプラグをコンピュータから外し、次にケーブルをネットワークデバイスから外します。

4. コンピュータからすべてのネットワークケーブルを外します。
5. コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。
6. ディスプレイを閉じ、平らな作業台の上でコンピュータを裏返します。

✎ **メモ:** システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

7. メインバッテリーを取り外します。
8. コンピュータを表向きにします。
9. ディスプレイを開きます。
10. 電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。





△ 注意: 感電防止のため、ディスプレイを開く前に、必ずコンセントからコンピュータの電源プラグを抜いてください。

△ 注意: コンピュータの内部に触れる前に、コンピュータの裏面など塗装されていない金属面に触れ、静電気を除去します。作業中は定期的に塗装されていない金属面に触れ、内部コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を放出してください。

11. 適切なスロットから、取り付けられている ExpressCard または Smart Card を取り外します。

## コンピュータの電源を切る

△ 注意: データの損失を防ぐため、コンピュータの電源を切る前に、開いているファイルはすべて保存して閉じ、実行中のプログラムはすべて終了してください。

1. オペレーティングシステムをシャットダウンします。
    - Windows 8 (タッチ対応デバイス) の場合：
      1. 画面の右端からスワイプ入力し、チャームメニューを開き、**Settings** (設定) を選択します。
      2. 電源アイコンを  次にシャットダウンを選択します。
    - マウスの用法：
      1. 画面の右上隅をポイントし、**Settings** (設定) をクリックします。
      2. 電源アイコンを  シャットダウンを選択します。
    - Windows 7 の場合：
      1. スタートをクリックします .
      2. シャットダウンをクリックします。
- または
1. スタートをクリックします .

2. 下に示すようにスタートメニューの右下隅の矢印をクリックして、シャットダウンをクリック



します

2. コンピュータと取り付けられているデバイスすべての電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしてもコンピュータとデバイスの電源が自動的に切れない場合、電源ボタンを 6 秒間押ししたままにして電源を切ります。

## コンピュータ内部の作業を終えた後に

交換（取り付け）作業が完了したら、コンピュータの電源を入れる前に、外付けデバイス、カード、ケーブルなどが接続されていることを確認してください。

**△ 注意:** コンピュータへの損傷を防ぐため、本 Dell コンピュータ専用のバッテリーのみを使用してください。他の Dell コンピュータ用のバッテリーは使用しないでください。

1. ポートレプリケータ、メディアベースなどの外部デバイスを接続し、ExpressCard などのカードを交換します。
2. 電話線、またはネットワークケーブルをコンピュータに接続します。

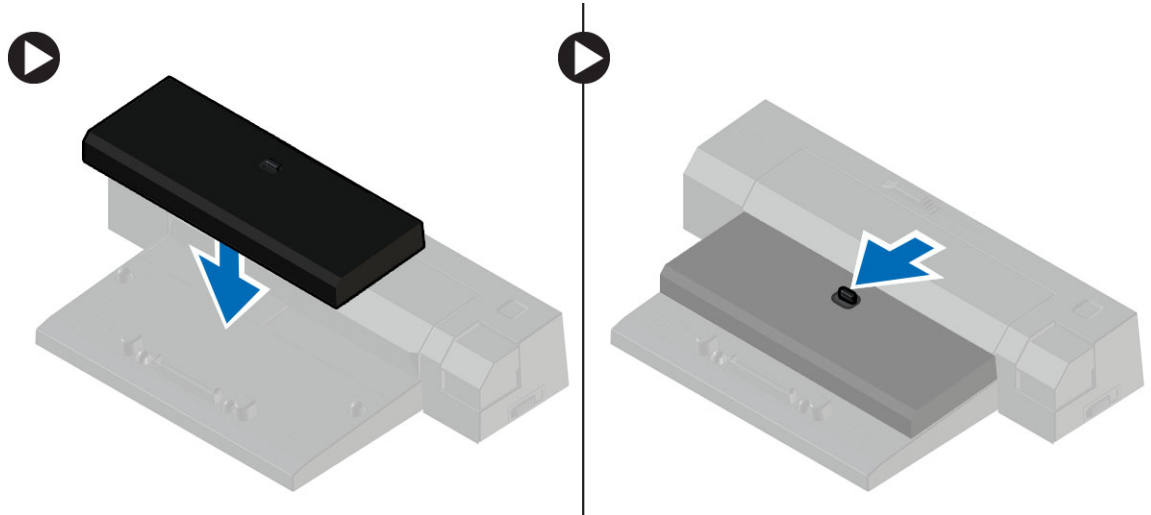
**△ 注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。


3. バッテリーを取り付けます。
4. コンピュータ、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。
5. コンピュータの電源を入れます。


## コンピュータのドッキング

次の手順に従ってコンピュータをドッキングさせます。

- a. ドッキングスペーサがドッキングステーションの所定の位置にカチッと収まるようにセットします。
- b. コンピュータをドッキングスペーサにセットしてドッキングさせます。



 **メモ:** ドッキングスペーサは Latitude E7250 / Latitude E7450 コンピュータのドッキングにのみ使用可能です。このドッキングステーションを使用してその他の Dell コンピュータのドッキングを行うことはできません。

 **メモ:** ドッキングスペーサとドックはオプション製品であり、コンピュータには標準装備されていません。



## コンポーネントの取り外しと取り付け

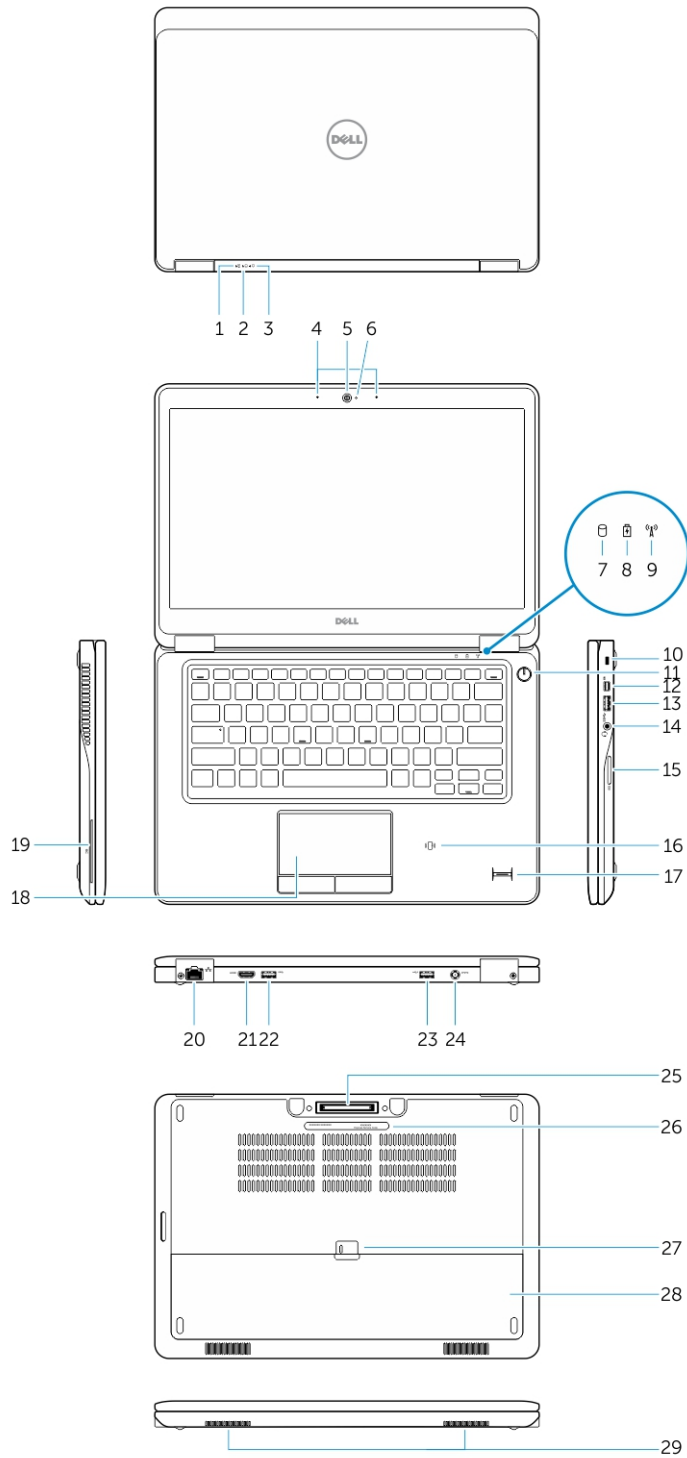
このセクションには、お使いのコンピューターからコンポーネントを取り外し、取り付ける手順についての詳細な情報が記載されています。

### 奨励するツール

この文書で説明する操作には、以下のツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバー
- プラスドライバー
- 小型のプラスチックスクライブ

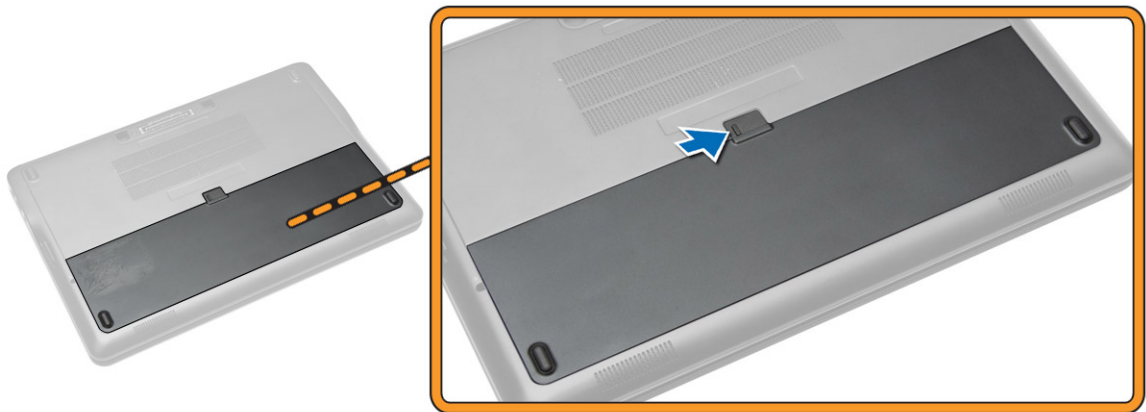
# システムの概要



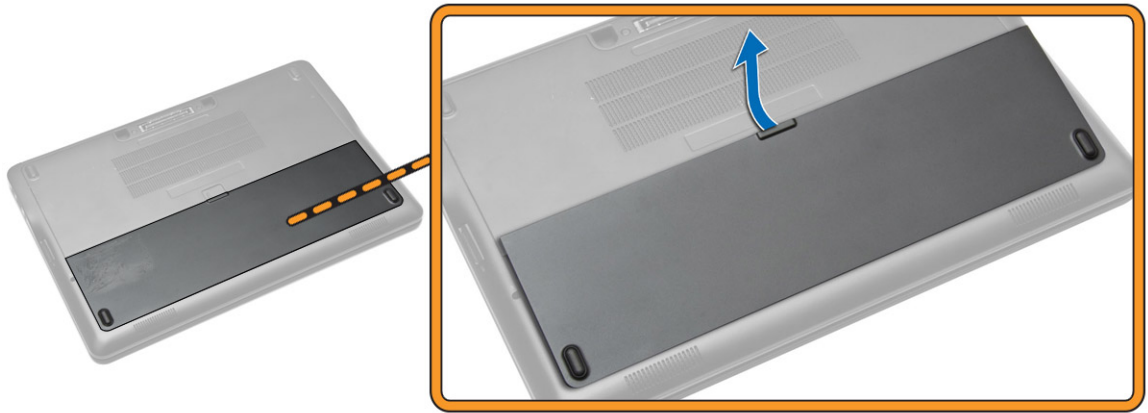
1. バッテリーステータスライト
3. 電源ステータスライト
5. カメラ
7. ハードドライブアクティビティライト
9. ワイヤレスステータスライト
11. 電源ボタン
13. USB 3.0 コネクタ
15. メモリカードリーダー
17. 指紋リーダー (オプション)
19. スマートカードリーダー (オプション)
21. HDMI コネクタ
23. USB 3.0 コネクタ (PowerShare 搭載)
25. ドックコネクタ (オプション)
27. バッテリーリリースラッチ
29. スピーカー
2. ハードドライブアクティビティライト
4. マイク
6. カメラステータスライト
8. バッテリーステータスライト
10. セキュリティケーブルスロット
12. Mini DisplayPort コネクタ
14. ヘッドセットコネクタ
16. 非接触型スマートカードリーダー / 近距離無線通信 (NFC) リーダー (オプション)
18. タッチパッド
20. ネットワークコネクタ
22. USB 3.0 コネクタ
24. 電源コネクタ
26. サービスタグラベル
28. バッテリー

## バッテリーの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. リリースラッチをスライドさせて、バッテリーのロックを解除します。



3. バッテリーをコンピュータから取り外します。

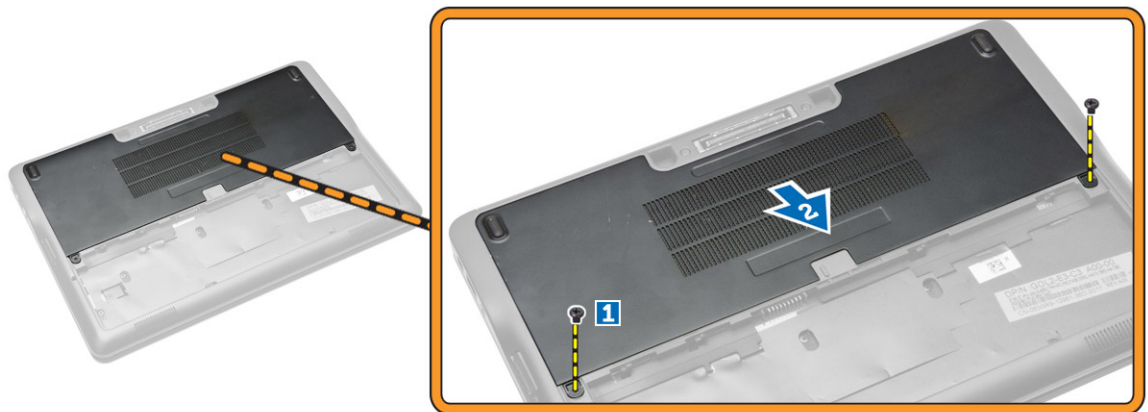


## バッテリーの取り付け

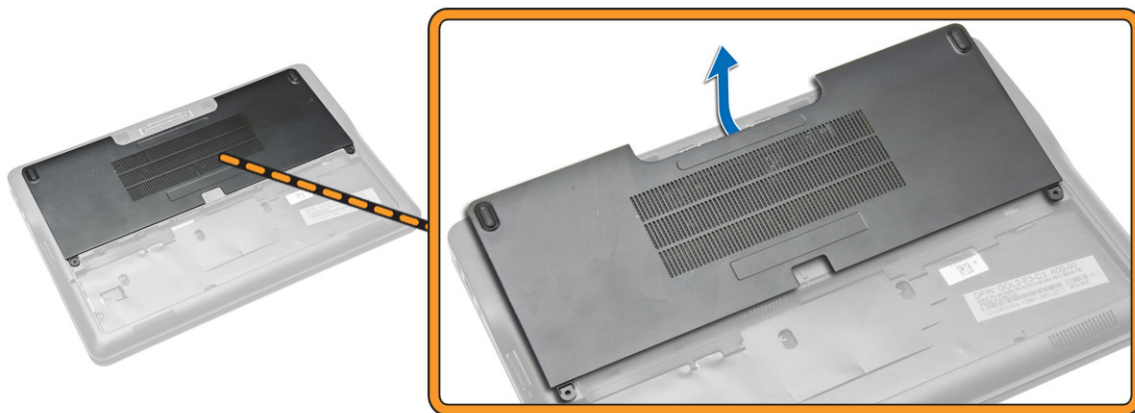
1. カチッと所定の位置に収まるまで、バッテリーをスロットに差し込みます。
2. [「コンピュータ内部の作業を終えた後に」](#)の手順に従います。

## ベースカバーの取り外し

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. [バッテリー](#)を取り外します。
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. ベースカバーをコンピュータに固定しているネジを外します[1]。
  - b. ベースカバーをてこの作用で持ち上げて、コンピュータから外します [2]。



4. ベースカバーをコンピュータから取り外します。

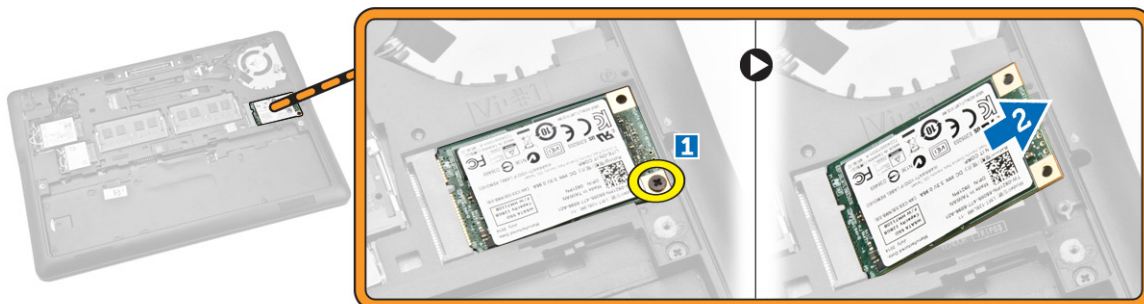


## ベースカバーの取り付け

1. ベースカバーを設置して、コンピュータのネジ穴にぴったり合わせます。
2. ネジを締めてベースカバーをコンピュータに固定します。
3. [バッテリー](#)を取り付けます。
4. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## SSD カードの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [バッテリー](#)
  - b. [ベースカバー](#)
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. SSD カードをコンピュータに固定しているネジを外します [1]。
  - b. SSD カードを持ち上げて、コンピュータから取り外します [2]。

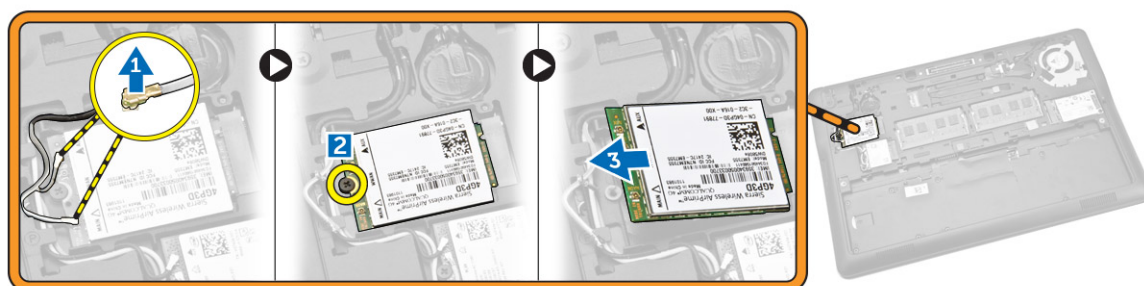


## SSD カードの取り付け

1. SSD カードをコンピュータの所定のスロットに差し込みます。
2. ネジを締めて、SSD カードをコンピュータに固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [ベースカバー](#)
  - b. [バッテリー](#)
4. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## WWAN カードの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [バッテリー](#)
  - b. [ベースカバー](#)
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. WWAN ケーブルを WWAN カードのコネクタから外します [1]。
  - b. WWAN カードをコンピュータに固定しているネジを外します [2]。
  - c. WWAN カードをコンピュータから取り外します [3]。



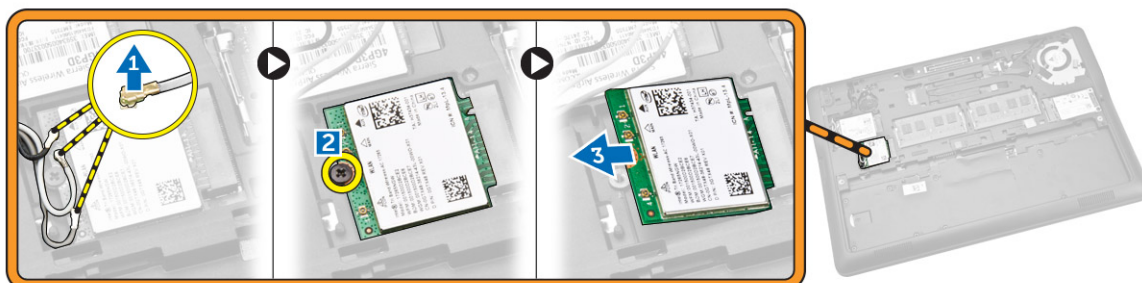
## WWAN カードの取り付け

1. WWAN カードをコンピュータの所定のスロットに差し込みます。
2. ネジを締めて、WWAN カードをコンピュータに固定します。
3. WWAN ケーブルを WWAN カードのコネクタに接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [ベースカバー](#)
  - b. [バッテリー](#)
5. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## WLAN カードの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。

- a. [バッテリー](#)
  - b. [ベースカバー](#)
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
- a. WLAN ケーブルを WLAN カードのコネクタから外します [1]。
  - b. WLAN カードをコンピュータに固定しているネジを外します [2]。
  - c. WLAN カードをコンピュータから取り外します [3]。

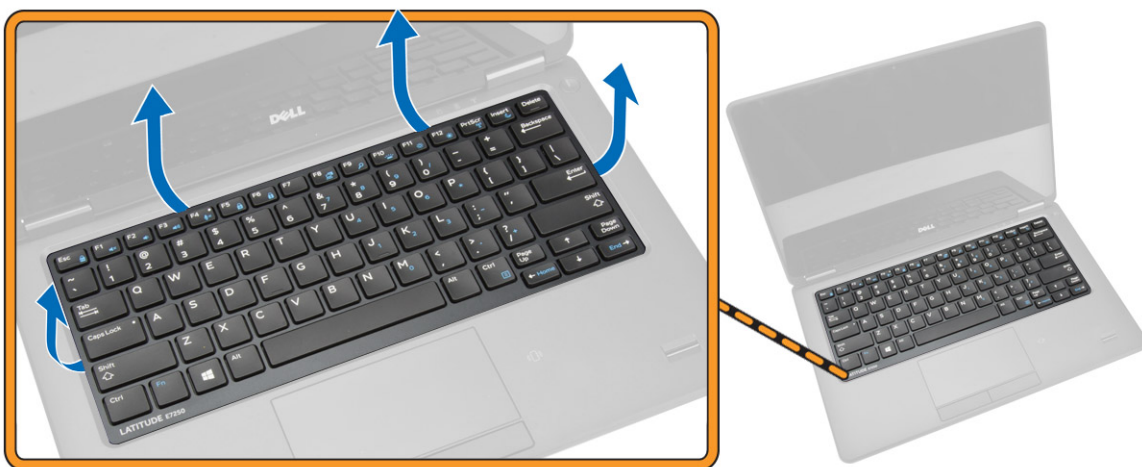


## WLAN カードの取り付け

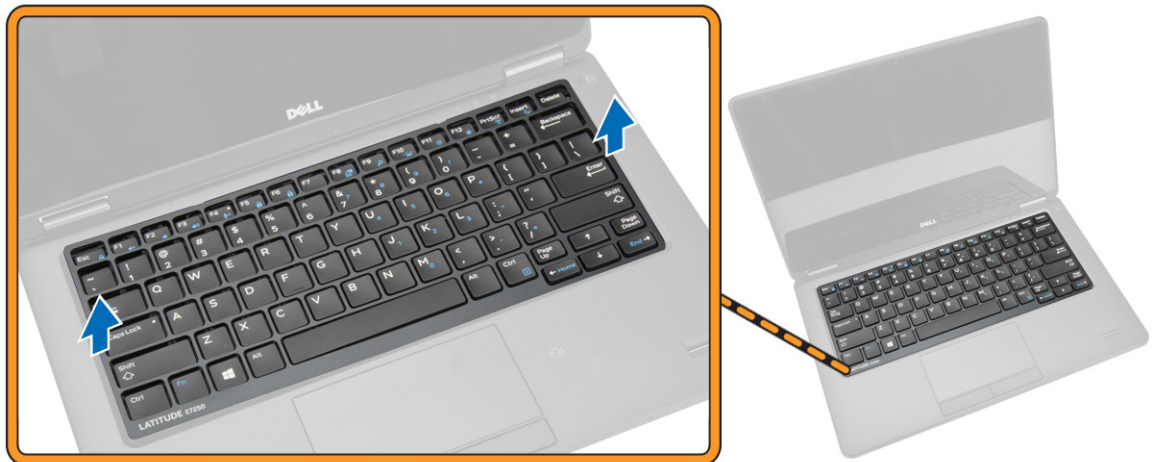
1. WLAN カードをコンピュータの所定のスロットに差し込みます。
2. ネジを締めて、WLAN カードをコンピュータに固定します。
3. WLAN ケーブルを WLAN カードのコネクタに接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [ベースカバー](#)
  - b. [バッテリー](#)
5. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## キーボードトリムの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [バッテリー](#)を取り外します。
3. プラスチックスクライブを使用して、キーボードトリムを端からこの作用で持ち上げ、キーボードから外します。



4. キーボードトリムをキーボードから取り外します。



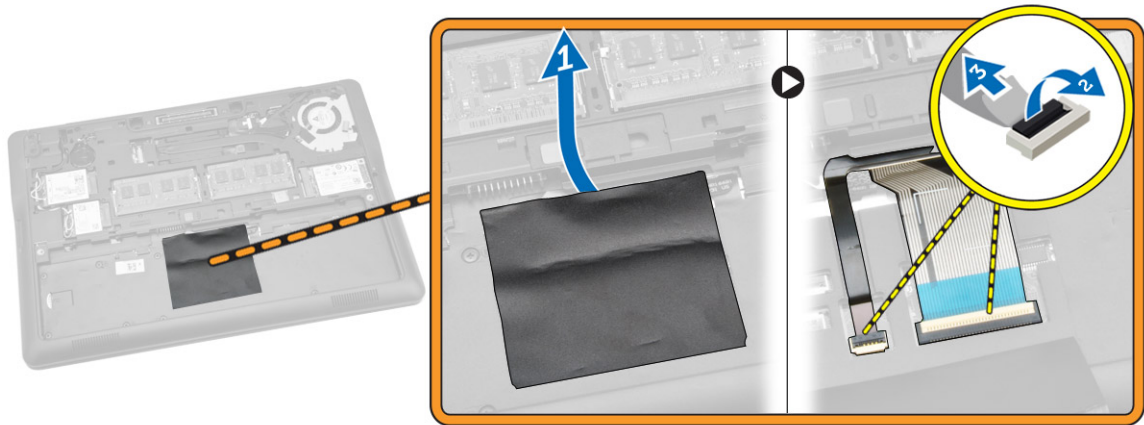
## キーボードトリムの取り付け

1. キーボードトリムをキーボードに差し込みます。
2. カチッと所定の位置に収まるまで、キーボードトリムの両端を押し込みます。
3. [バッテリー](#)を取り付けます。
4. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

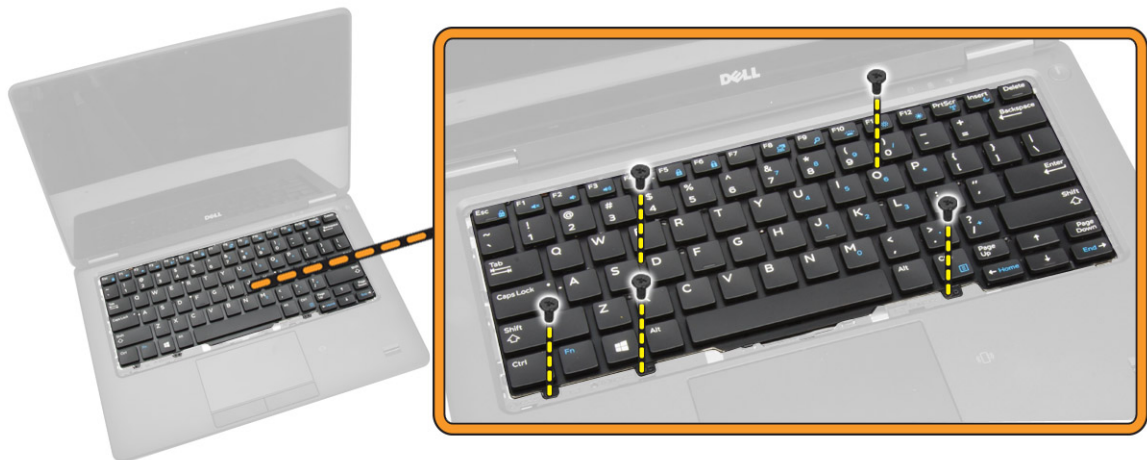
## キーボードの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [バッテリー](#)
  - b. [ベースカバー](#)
  - c. [キーボードトリム](#)
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. 粘着テープをはがし、キーボードケーブルを取り出せるようにします [1]。
  - b. キーボードケーブルをシステム基板上のコネクタから外します [2] [3]。





4. コンピュータを裏返し、コンピュータにキーボードを固定しているネジを外します。



5. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
- この作用でキーボードを持ち上げ、コンピュータから外します [1]。
  - キーボードをコンピュータから取り外します [2]。

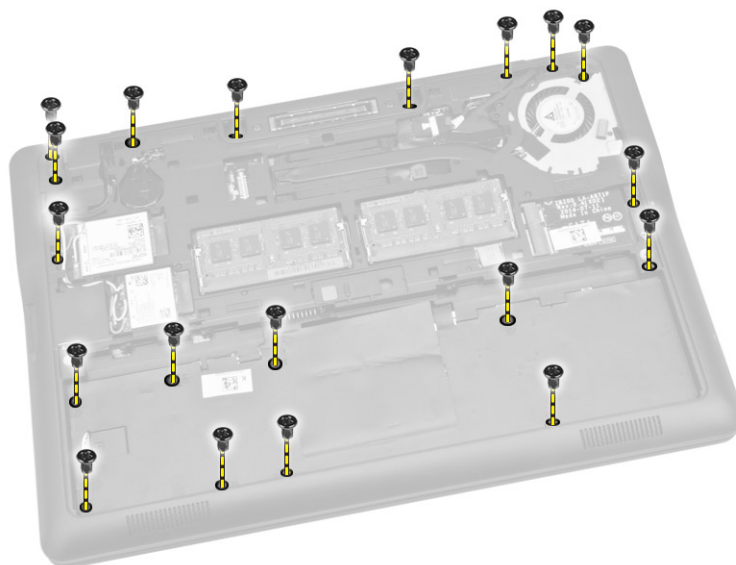


## キーボードの取り付け

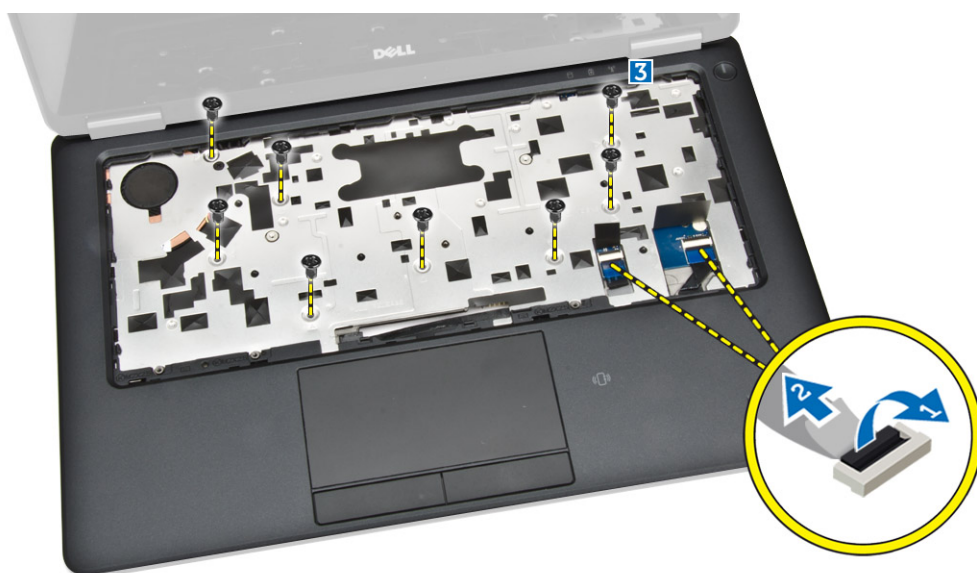
1. キーボードをセットして、コンピュータのネジホルダーに合わせます。
2. ネジを締めてキーボードをコンピュータに固定します。
3. コンピュータを裏返して、キーボードケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [キーボードトリム](#)
  - b. [ベースカバー](#)
  - c. [バッテリー](#)
5. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## パームレストの取り外し

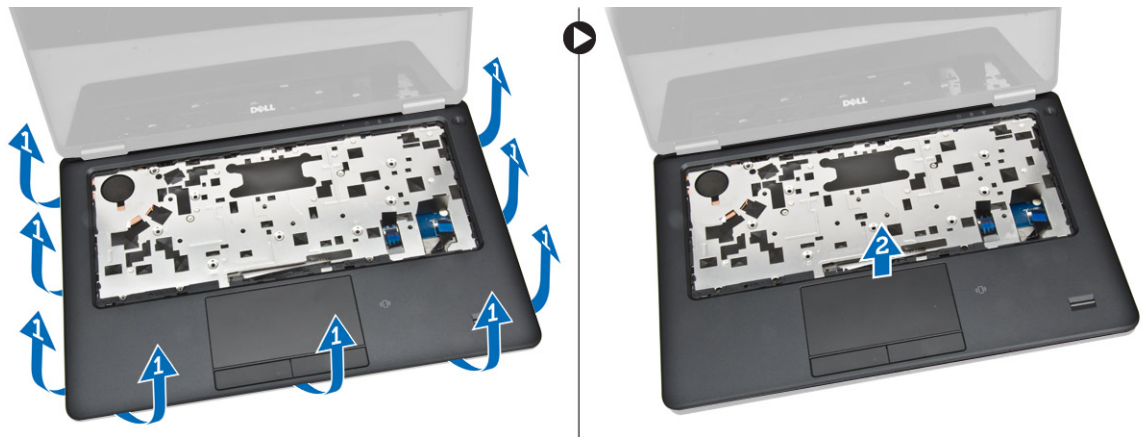
1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [バッテリー](#)
  - b. [ベースカバー](#)
  - c. [SSD カード](#)
  - d. [キーボードトリム](#)
  - e. [キーボード](#)
3. パームレストを固定しているネジを外し、コンピュータを裏返します。



4. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. コンピュータを裏返します。
  - b. タッチケーブルをシステム基板上的のコネクタから外します [1] [2]。
  - c. パームレストをコンピュータに固定しているネジを外します [3]。



5. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. パームレストの端に沿って持ち上げます [1]。
  - b. パームレストをコンピュータから取り外します [2]。

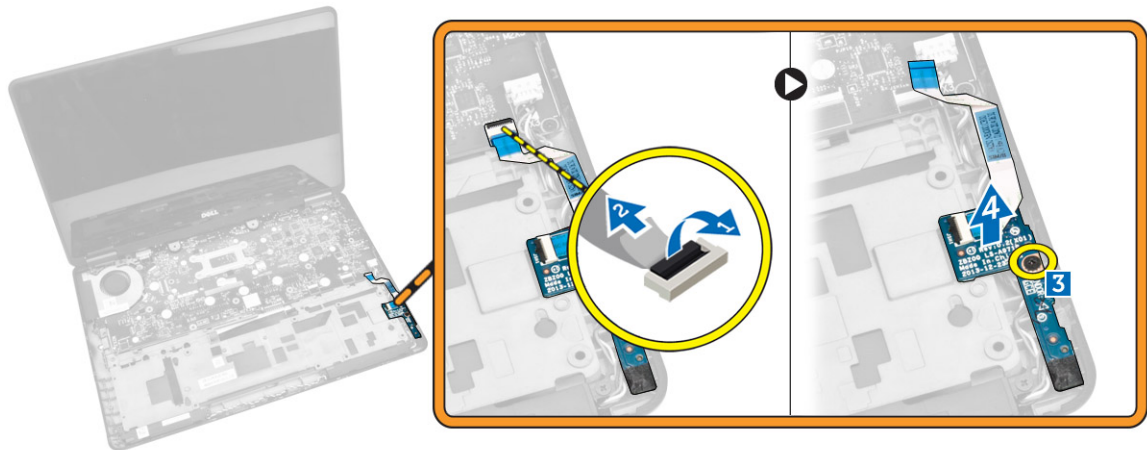


## パームレストの取り付け

1. パームレストをコンピュータの元の位置に合わせ、所定の位置にカチッとはめ込みます。
2. パームレストをコンピュータの前面に固定するネジを締めます。
3. タッチケーブルをシステム基板上の対応するコネクタに接続します。
4. コンピュータを裏返し、ネジを締めてパームレストをコンピュータに固定します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [キーボード](#)
  - b. [キーボードトリム](#)
  - c. [SSD カード](#)
  - d. [ベースカバー](#)
  - e. [バッテリー](#)
6. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## SIM ボードの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [バッテリー](#)
  - b. [ベースカバー](#)
  - c. [SSD カード](#)
  - d. [キーボードトリム](#)
  - e. [キーボード](#)
  - f. [パームレスト](#)
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. SIM ボードケーブルをシステム基板上的コネクタから外します [1] [2]。
  - b. SIM ボードケーブルをコンピュータに固定しているネジを外します [3]。
  - c. SIM ボードをコンピュータから取り外します [4]。

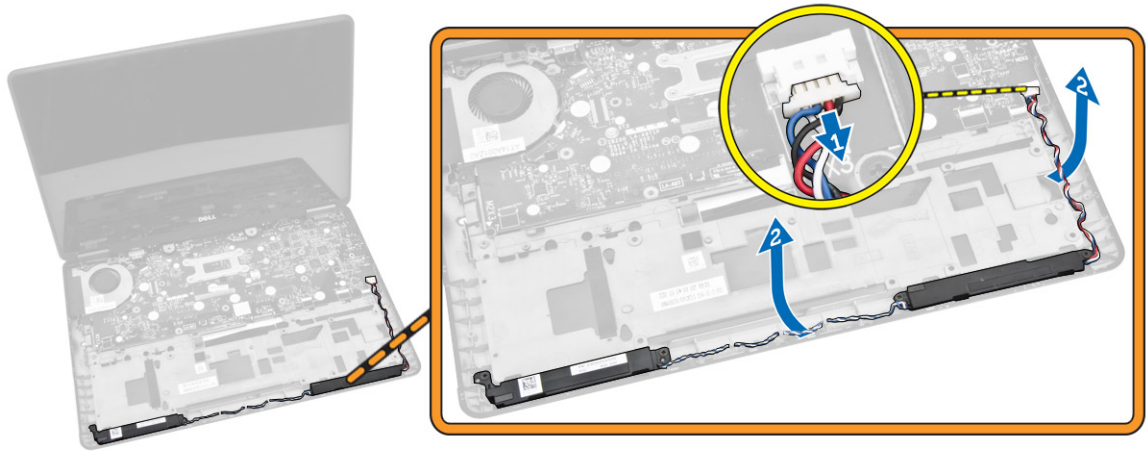


## SIM ボードの取り付け

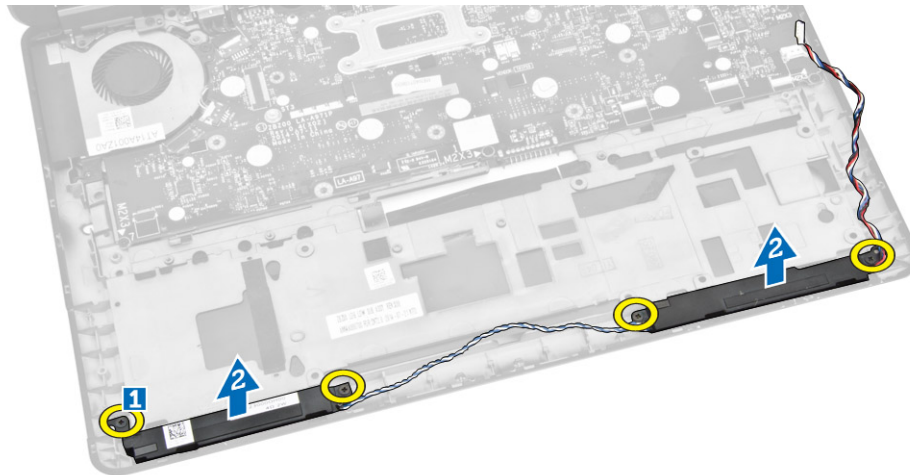
1. SIM ボードをコンピュータにセットします。
2. ネジを締めて、SIM ボードをコンピュータに固定します。
3. SIM ボードケーブルをシステム基板上のコネクタに接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [パームレスト](#)
  - b. [キーボード](#)
  - c. [キーボードトリム](#)
  - d. [SSD カード](#)
  - e. [ベースカバー](#)
  - f. [バッテリー](#)
5. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## スピーカーの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [バッテリー](#)
  - b. [ベースカバー](#)
  - c. [キーボードトリム](#)
  - d. [キーボード](#)
  - e. [SSD カード](#)
  - f. [パームレスト](#)
  - g. [SIM ボード](#)
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. スピーカーケーブルをシステム基板上のコネクタから外します [1]。
  - b. スピーカーケーブルを配線チャンネルから外します [2]。



4. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
- a. スピーカーをコンピュータに固定しているネジを外します [1]。
  - b. スピーカーをコンピュータから取り外します [2]。



## スピーカーの取り付け

1. スピーカーを元の位置に合わせてネジを締め、スピーカーをコンピュータに固定します。
2. スピーカーケーブルを配線チャンネルに沿って配線します。
3. スピーカーケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [SIM ボード](#)
  - b. [パームレスト](#)
  - c. [キーボード](#)
  - d. [キーボードトリム](#)
  - e. [SSD カード](#)
  - f. [ベースカバー](#)
  - g. [バッテリー](#)

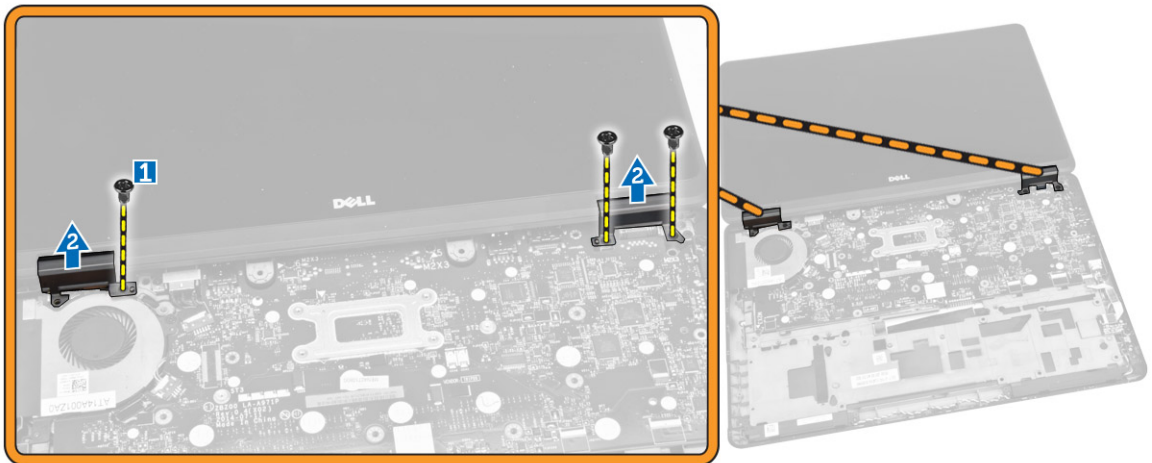
5. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## ディスプレイヒンジカバーの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [バッテリー](#)
  - b. [ベースカバー](#)
  - c. [キーボードトリム](#)
  - d. [SSD カード](#)
  - e. [パームレスト](#)
3. ディスプレイヒンジカバーをコンピュータに固定しているネジを外します。



4. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. ディスプレイヒンジをコンピュータに固定しているネジを外します [1]。
  - b. ディスプレイヒンジカバーをコンピュータから取り外します [2]。

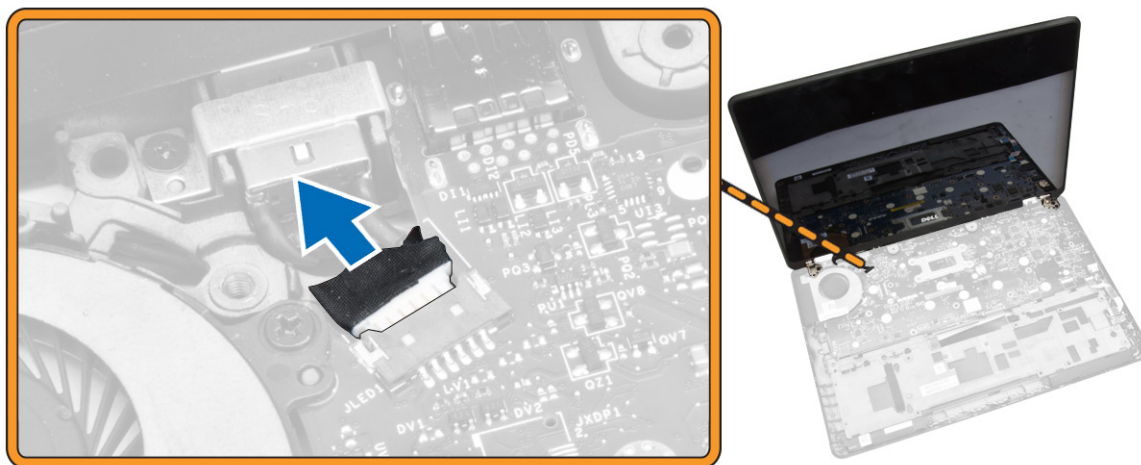


## ディスプレイヒンジカバーの取り付け

1. ディスプレイヒンジカバーを設置して、ネジを締めてディスプレイヒンジカバーをコンピュータに固定します。
2. ディスプレイヒンジカバーをコンピュータに固定するネジを締めます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [パームレスト](#)
  - b. [キーボードトリム](#)
  - c. [SSD カード](#)
  - d. [ベースカバー](#)
  - e. [バッテリー](#)
4. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

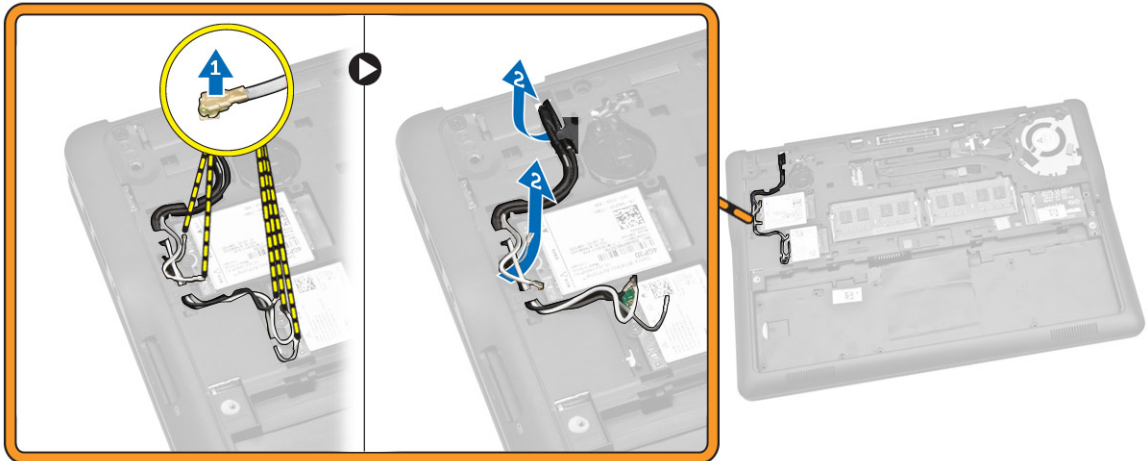
## ディスプレイアセンブリの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [バッテリー](#)
  - b. [ベースカバー](#)
  - c. [キーボードトリム](#)
  - d. [キーボード](#)
  - e. [SSD カード](#)
  - f. [パームレスト](#)
3. 電源コネクタポートケーブルをシステム基板上的コネクタから外します。

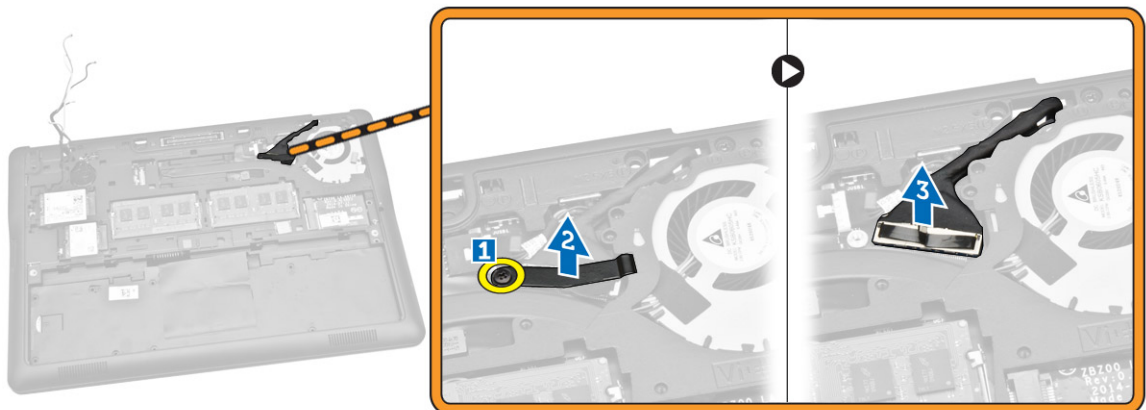


4. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. WWAN ケーブルと WLAN ケーブルを WWAN カードと WLAN カードのコネクタから外します [1]。
  - b. WWAN ケーブルと WLAN ケーブルを配線チャンネルから外します [2]。

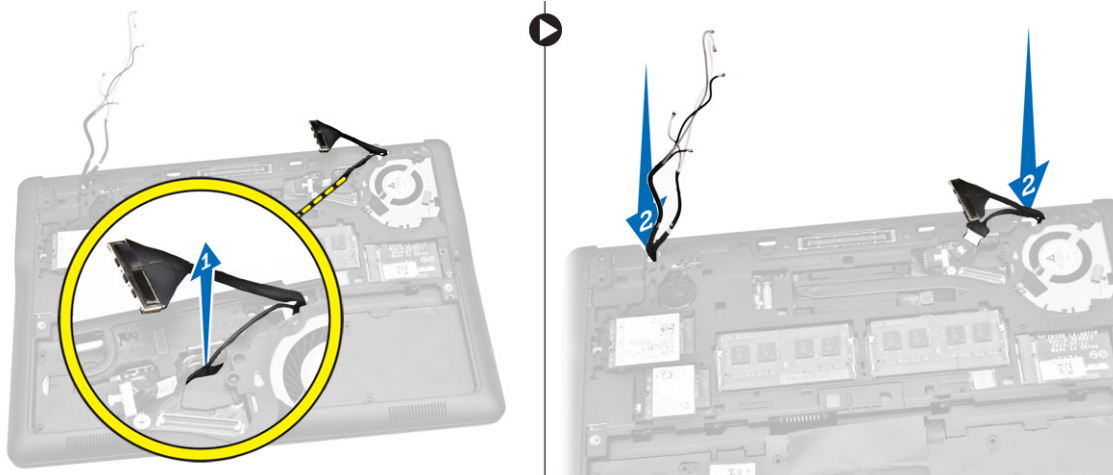




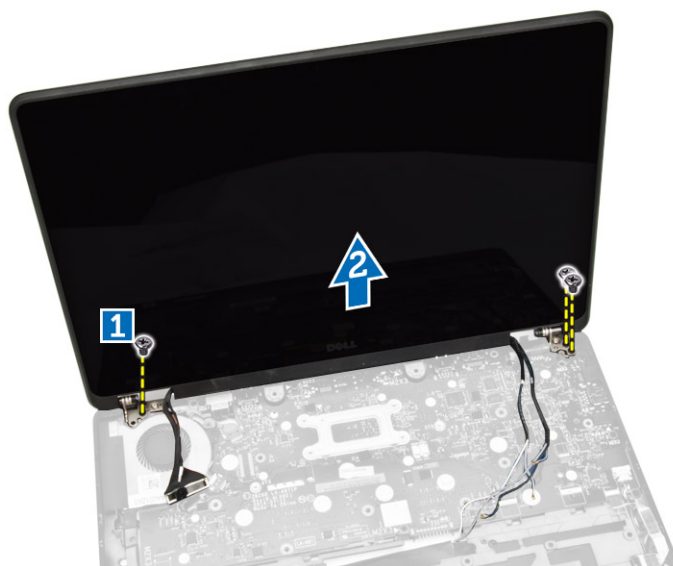
5. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
- a. ディスプレイケーブルをコンピュータに固定しているネジを外します [1]。
  - b. タブを持ち上げてディスプレイケーブルを取り出せるようにします [2]。
  - c. ディスプレイケーブルをシステム基板のコネクタから外します [3]。



6. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
- a. ディスプレイアセンブリをコンピュータに固定しているベースシャーシの穴からアンテナケーブルを引き出します [1] [2]。



7. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
- a. ディスプレイアセンブリをコンピュータに固定しているネジを取り外します [1]。
  - b. ディスプレイアセンブリを持ち上げて、コンピュータから取り外します [2]。



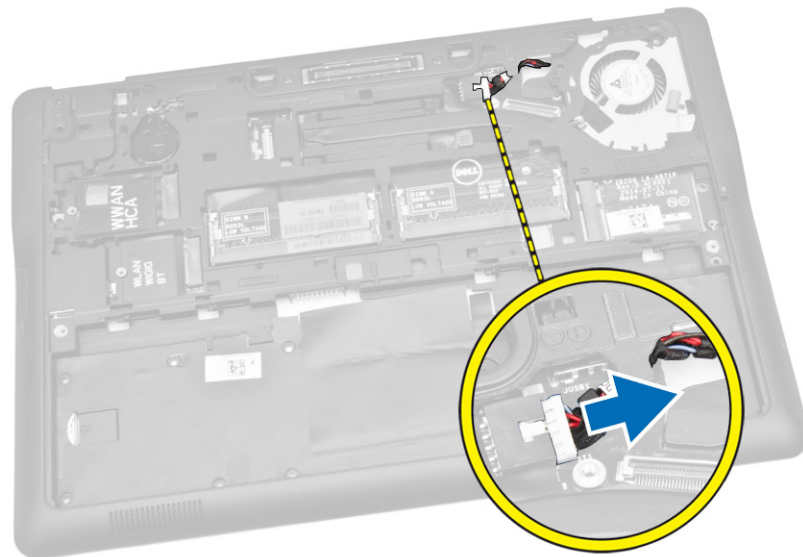
## ディスプレイアセンブリの取り付け

1. WWAN ケーブル、WLAN ケーブル、ディスプレイアセンブリケーブルをベースシャーシ上のそれぞれの配線チャンネルに沿って配線し、コネクタに接続します。
2. ディスプレイアセンブリをコネクタにセットします。
3. ネジを締めて、ディスプレイアセンブリをコンピュータに固定します。
4. 金属製ブラケットをディスプレイアセンブリのケーブルにセットし、ネジを締めてディスプレイアセンブリに固定します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [パームレスト](#)
  - b. [キーボード](#)

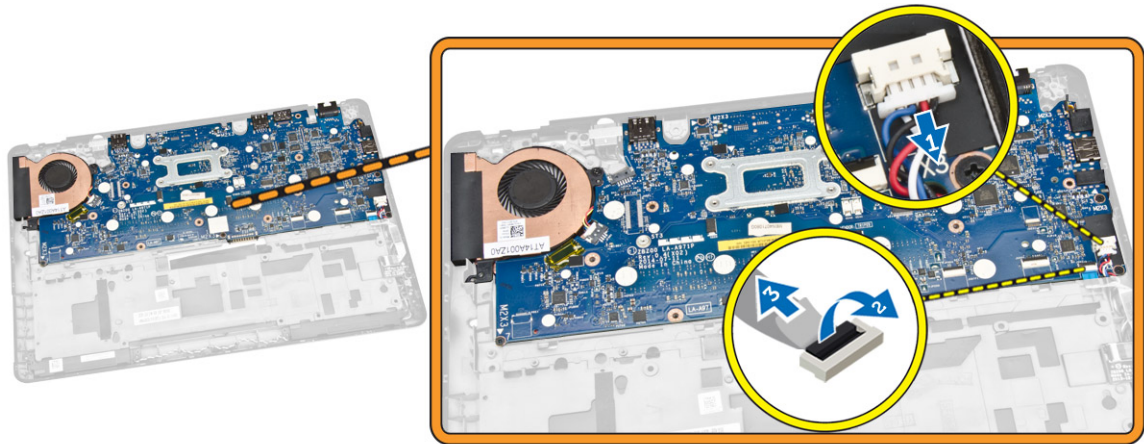
- c. [キーボードトリム](#)
  - d. [SSD カード](#)
  - e. [ベースカバー](#)
  - f. [バッテリー](#)
6. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## システム基板の取り外し

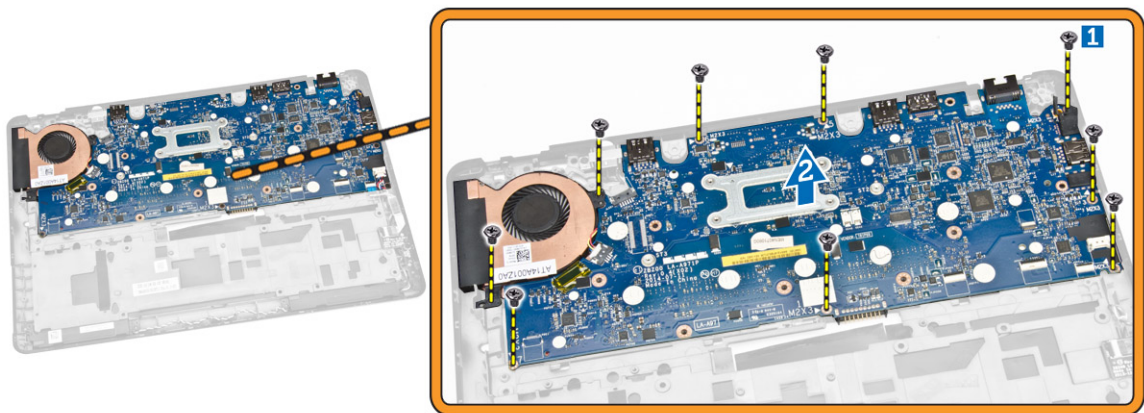
1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [バッテリー](#)
  - b. [ベースカバー](#)
  - c. [キーボードトリム](#)
  - d. [キーボード](#)
  - e. [SSD カード](#)
  - f. [パームレスト](#)
  - g. [WWAN カード](#)
  - h. [WLAN カード](#)
  - i. [スピーカー](#)
  - j. [ヒンジカバー](#)
  - k. [ディスプレイアセンブリ](#)
3. 電源コネクタケーブルをシステム基板上のコネクタから外します。



4. スピーカーケーブルと [1]、SIM ボードケーブルを [2] [3]、システム基板のコネクタから取り外します。



5. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
- a. システム基板をコンピュータシャーシに固定しているネジを外します [1]。
  - b. システム基板をコンピュータから取り外します [2]。



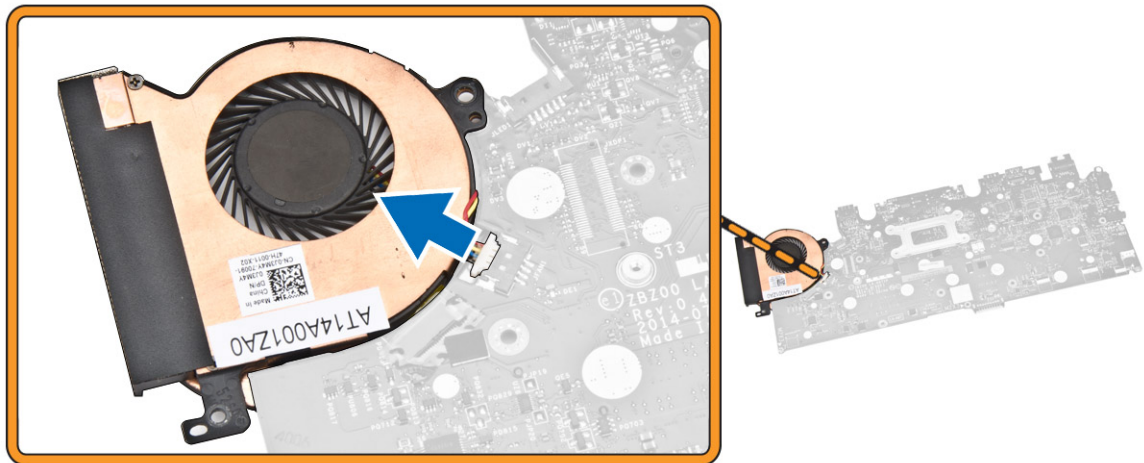
## システム基板の取り付け

1. システム基板をコンピュータシャーシの所定の位置に合わせます。
2. ネジを締めてシステム基板をコンピュータシャーシに固定します。
3. スピーカーケーブルと SIM ボードケーブルを、システム基板のそれぞれのコネクタに接続します。
4. 電源コネクタポートケーブルをシステム基板上のコネクタに接続します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [ディスプレイアセンブリ](#)
  - b. [ヒンジカバー](#)
  - c. [スピーカー](#)
  - d. [WLAN カード](#)
  - e. [WWAN カード](#)
  - f. [パームレスト](#)

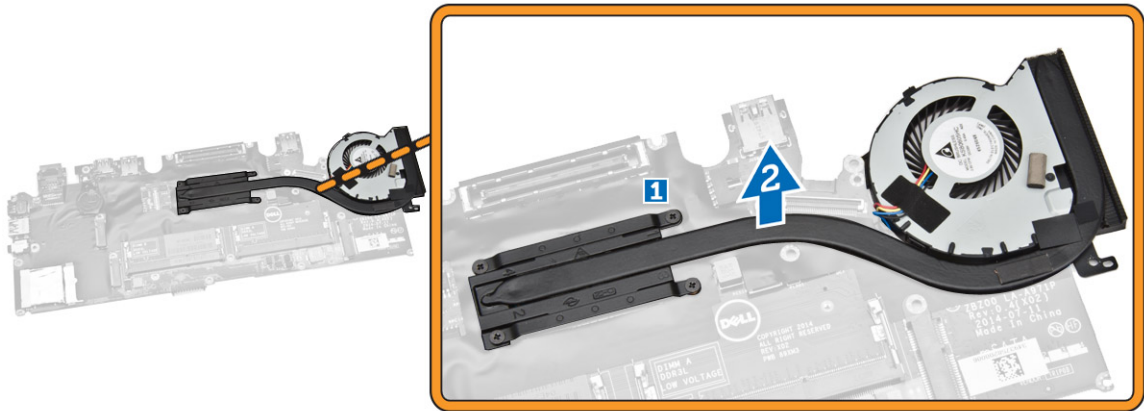
- g. [SSD カード](#)
  - h. [キーボードトリム](#)
  - i. [キーボード](#)
  - j. [ベースカバー](#)
  - k. [バッテリー](#)
6. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## ヒートシンクアセンブリの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [バッテリー](#)
  - b. [ベースカバー](#)
  - c. [キーボードトリム](#)
  - d. [キーボード](#)
  - e. [SSD カード](#)
  - f. [パームレスト](#)
  - g. [WWAN カード](#)
  - h. [WLAN カード](#)
  - i. [ヒンジカバー](#)
  - j. [SIM ボード](#)
  - k. [ディスプレイアセンブリ](#)
3. システムファンケーブルをシステム基板のコネクタから外します。



4. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
  - a. ヒートシンクアセンブリをシステム基板に固定しているネジを外します [1]。
  - b. ヒートシンクアセンブリをシステム基板から取り外します [2]。



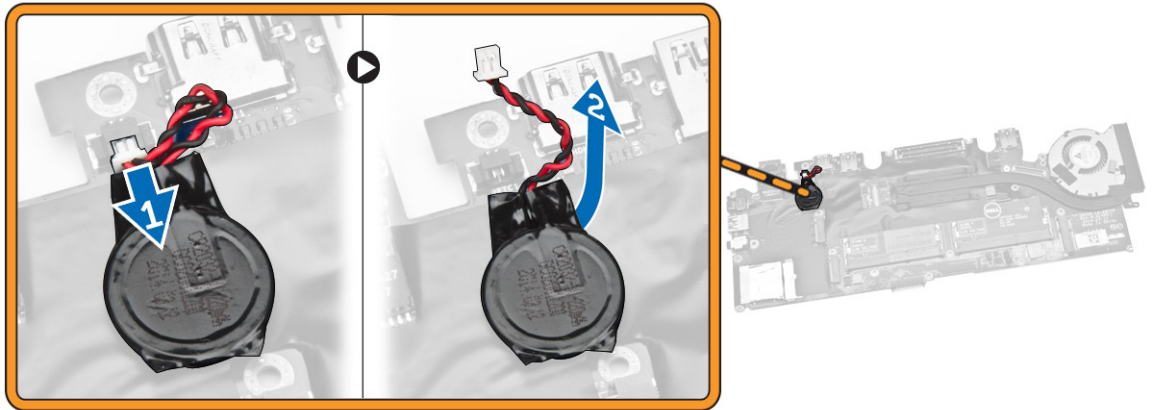
## ヒートシンクアセンブリの取り付け

1. ヒートシンクアセンブリをシステム基板の元の位置にセットします。
2. ネジを締めてヒートシンクアセンブリをシステム基板に固定します。
3. システムファンケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [ディスプレイアセンブリ](#)
  - b. [SIM ボード](#)
  - c. [ヒンジカバー](#)
  - d. [WLAN カード](#)
  - e. [WWAN カード](#)
  - f. [パームレスト](#)
  - g. [SSD カード](#)
  - h. [キーボード](#)
  - i. [キーボードトリム](#)
  - j. [ベースカバー](#)
  - k. [バッテリー](#)
5. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

## コイン型電池の取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
  - a. [バッテリー](#)
  - b. [ベースカバー](#)
  - c. [キーボードトリム](#)
  - d. [キーボード](#)
  - e. [SSD カード](#)
  - f. [パームレスト](#)
  - g. [システム基板](#)
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。

- a. コイン型電池ケーブルをシステム基板上のコネクタから外します [1]。
- b. コイン型電池をてこの作用で持ち上げ、システム基板から取り外します [2]。



## コイン型電池の取り付け

1. システム基板にコイン型電池をセットします。
2. コイン型電池ケーブルをシステム基板に接続します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
  - a. [システム基板](#)
  - b. [パームレスト](#)
  - c. [SSD カード](#)
  - d. [キーボードトリム](#)
  - e. [キーボード](#)
  - f. [ベースカバー](#)
  - g. [バッテリー](#)
4. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

# セットアップユーティリティ

## 起動順序

起動順序ではシステムセットアップで定義された起動デバイスの順序および起動ディレクトリを特定のデバイス（例: オプティカルドライブまたはハードドライブ）にバイパスすることができます。パワーオンセルフテスト(POST)中に、Dell のロゴが表示されたら、以下の操作が可能です:

- <F2> を押してシステムセットアップにアクセスする
- <F12> を押して 1 回限りの起動メニューを立ち上げる

1 回限りの起動メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下の通りです:

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ
  - **メモ:** XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- オプティカルドライブ
- 診断
  - **メモ:** 診断を選択すると **ePSA 診断** 画面が表示されます。

起動順序画面ではシステムセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

## ナビゲーションキー


以下の表ではセットアップユーティリティのナビゲーションキーを示しています。

- **メモ:** ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

表 1. ナビゲーションキー

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
<Enter>	選択したフィールドに値を入力するか（該当する場合）、フィールド内のリンクに移動することができます。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
<Tab>	次のフォーカス対象領域に移動します。



キー	ナビゲーション
	 <b>メモ:</b> 標準グラフィックブラウザ用に限られます。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で <Esc> を押すと、未保存の変更を保存するプロンプトが表示され、システムが再起動します。
<F1>	セットアップユーティリティ のヘルプファイルを表示します。

## セットアップユーティリティのオプション


 **メモ:** お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示された項目の一部がない場合があります。



表 2. 一般

オプション	説明
<b>System Information</b>	<p>このセクションには、コンピュータの主要なハードウェア機能が一覧表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• System Information (システム情報) : BIOS Version (BIOS バージョン)、Service Tag (サービスタグ)、Asset Tag (アセットタグ)、Ownership Tag (所有者タグ)、Ownership Date (購入日)、Manufacture Date (製造日)、Express Service Code (エクスプレスサービスコード) が表示されます。</li> <li>• Memory Information (メモリ情報) : Memory Installed (搭載容量)、Memory Available (使用可能な容量)、Memory Speed (速度)、Memory Channels Mode (チャンネルモード)、Memory Technology (テクノロジー)、DIMM A Size (DIMM A のサイズ)、DIMM B Size (DIMM B のサイズ) が表示されます。</li> <li>• Processor Information (プロセッサ情報) : Processor Type (種類)、Core Count (コア数)、Processor ID (ID)、Current Clock Speed (現在のクロックスピード)、Minimum Clock Speed (最小クロックスピード)、Maximum Clock Speed (最大クロックスピード)、Processor L2 Cache (プロセッサ L2 キャッシュ)、Processor L3 Cache (プロセッサ L3 キャッシュ)、HT Capable (HT 対応)、64-Bit Technology (64 ビットテクノロジー) が表示されます。</li> <li>• Device Information (デバイス情報) : Primary Hard Drive (プライマリハードドライブ)、System eSATA Device (システム eSATA デバイス)、Dock eSATA Device (eSATA ドッキングデバイス)、LOM MAC Address (LOM MAC アドレス)、Video Controller (ビデオコントローラ)、Video BIOS Version (ビデオ BIOS バージョン)、Video</li> </ul>

オプション	説明
Battery Information	Memory (ビデオメモリ)、Panel Type (パネルのタイプ)、Native Resolution (ネイティブ解像度)、Audio Controller (オーディオコントローラ)、Modem Controller (モデムコントローラ)、Wi-Fi Device (Wi-Fi デバイス)、WiGig Device (WiGig デバイス)、Cellular Device (セルラーデバイス)、Bluetooth Device (Bluetooth デバイス) が表示されます。
Boot Sequence	<p>バッテリー状態とコンピュータに接続している AC アダプタの種類を表示します。</p> <p>コンピュータが OS の検出を試みる順序を変更することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Diskette Drive (ディスクетトドライブ)</li> <li>• Internal HDD (内蔵 HDD)</li> <li>• USB Storage Device (USB ストレージデバイス)</li> <li>• CD/DVD/CD-RW Drive (CD/DVD/CD-RW ドライブ)</li> <li>• Onboard NIC (オンボード NIC)</li> </ul> <p>Boot List (起動リスト) オプションを選択することもできます。次のオプションから選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Legacy (レガシー) (デフォルト設定)</li> <li>• UEFI</li> </ul>
Advance Boot Option	<p>このオプションはレガシー起動モードに必要です。このオプションは、安全起動が有効の場合、使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable Legacy Option ROMs</b> (レガシーオプション ROM を有効にする) – このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</li> </ul>
Date/Time	日付と時刻を設定できます。

表 3. システム設定

オプション	説明
Integrated NIC	<p>内蔵ネットワークコントローラを設定することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 無効</li> <li>• Enabled (有効)</li> <li>• <b>Enabled w/PXE</b> (PXE で有効) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</li> <li>• Enable UEFI Network Stack (UEFI ネットワークスタックを有効にする):こ</li> </ul>

オプション	説明
Parallel Port	<p>れによって pre-OS および early OS ネットワーク環境で UEFI ネットワークプロトコルを有効にできます。</p> <p>ドッキングステーションの平行ポートの動作を定義および設定することができます。平行ポートは次のように設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 無効</li> <li>• <b>AT</b></li> <li>• PS2</li> <li>• ECP</li> </ul>
Serial Port	<p>シリアルポートの設定を識別および定義します。シリアルポートは次のように設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 無効</li> <li>• <b>COM1</b> (デフォルト設定)</li> <li>• COM2</li> <li>• COM3</li> <li>• COM4</li> </ul>
SATA Operation	<p> <b>メモ:</b> 設定が無効の場合でも、オペレーティングシステムがリソースを割り当てる場合があります。</p> <p>内蔵 SATA ハードドライブコントローラを設定することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 無効</li> <li>• AHCI</li> <li>• <b>RAID On</b> (RAID オン) (デフォルト設定)</li> </ul>
Drives	<p> <b>メモ:</b> RAID モードをサポートするには SATA を設定します。</p> <p>基板上の SATA ドライブを設定することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• SATA-0</li> <li>• SATA-1</li> <li>• SATA-2</li> <li>• SATA-3</li> </ul>
SMART Reporting	<p>デフォルト設定: ドライブはすべて有効です。</p> <p>このフィールドでは、内蔵ドライブのハードドライブエラーをシステム起動時に報告するかどうかを制御します。このテクノロジーは、SMART (Self Monitoring</p>

オプション	説明
<b>USB Configuration</b>	<p>Analysis and Reporting Technology) 仕様の一部です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable SMART Reporting</b> (SMART レポートを有効にする) – このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</li> </ul> <p>USB 設定を定義することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable Boot Support</b> (起動サポートを有効にする)</li> <li>• <b>Enable External USB Port</b> (外部 USB ポートを有効にする)</li> <li>• <b>Enable USB3.0 Controller</b> (USB3.0 コントローラを有効にする)</li> </ul>
<b>USB PowerShare</b>	<p>デフォルト設定: すべてのオプションが有効になります。</p> <p>USB PowerShare 機能の動作を設定できます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable USB PowerShare</b> (USB PowerShare を有効にする)</li> </ul>
<b>Audio</b>	<p>統合オーディオコントローラを有効または無効に設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable Audio</b> (オーディオを有効にする) このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</li> </ul>
<b>Keyboard Illumination</b>	<p>キーボードライト機能の動作モードを選択できます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>無効</b> (デフォルト設定)</li> <li>• 暗い</li> <li>• 明るい</li> </ul>
<b>Keyboard Backlight with AC</b>	<p>照明を点灯させ、さまざまな照明レベルを継続的にサポートできます。</p>
<b>Unobtrusive Mode</b>	<p>システムのすべてのライトと音響放射をオフにするモードを設定できます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable Unobtrusive Mode</b> (Unobtrusive Mode を有効にする)</li> </ul>
<b>Miscellaneous Devices</b>	<p>各種オンボードデバイスを有効または無効にできます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable Microphone</b> (マイクを有効にする)</li> </ul>


オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Enable Camera (カメラを有効にする)</li> <li>• Enable Media Card (メディアカードを有効にする)</li> <li>• Disable Media Card (メディアカードを無効にする)</li> </ul> <p>デフォルト設定: デバイスはすべて有効です。</p>

表 4. ビデオ


オプション	説明
<b>LCD Brightness</b>	電源 (バッテリーおよび AC) に応じてディスプレイの輝度を設定することができます。

表 5. セキュリティ

オプション	説明
<b>Admin Password</b>	<p>このフィールドでは、管理者 (admin) パスワード (セットアップパスワードと呼ばれる場合もある) を設定、変更、または削除します。管理者パスワードではいくつかのセキュリティ機能を有効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enter the old password (古いパスワードを入力する)</li> <li>• Enter the new password (新しいパスワードを入力する)</li> <li>• Confirm the new password (新しいパスワードを確認する)</li> </ul> <p>デフォルト設定: <b>Not set</b> (設定なし)</p>
<b>System Password</b>	<p>システムパスワードを設定、変更、または削除できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enter the old password (古いパスワードを入力する)</li> <li>• Enter the new password (新しいパスワードを入力する)</li> <li>• Confirm the new password (新しいパスワードを確認する)</li> </ul> <p>デフォルト設定: <b>Not set</b> (設定なし)</p>
<b>Internal HDD-1 Password</b>	<p>管理者 (admin) パスワードを設定、変更、または削除することができます。</p> <p>デフォルトでは、ドライブにはパスワードは設定されていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enter the old password (古いパスワードを入力する)</li> <li>• Enter the new password (新しいパスワードを入力する)</li> <li>• Confirm the new password (新しいパスワードを確認する)</li> </ul> <p>デフォルト設定: <b>Not set</b> (設定なし)</p>
<b>Strong Password</b>	<p>強力なパスワードを設定するオプションを常に強制することができます。</p> <p>デフォルト設定: <b>Enable Strong Password</b> (強力なパスワードを有効にする) は選択されません。</p>
<b>Password Configuration</b>	<p>パスワードの文字数を定義することができます。最小 4 文字、最大 32 文字です。</p>

オプション	説明
<b>Password Bypass</b>	<p>システムパスワードと内蔵 HDD パスワードが設定されている場合に、これらのパスワードをスキップする許可を有効または無効にできます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無効 (デフォルト設定)</li> <li>Reboot bypass (再起動のスキップ)</li> </ul>
<b>Password Change</b>	<p>管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードとハードドライブパスワードへの許可を無効にできます。</p> <p>デフォルト設定: <b>Allow Non-Admin Password Changes</b> (管理者以外のパスワード変更を許可する) は選択されていません。</p>
<b>Non-Admin Setup Changes</b>	<p>管理者パスワードが設定されている場合に、セットアップオプションへの変更を許可するかどうかを決定できます。このオプションは無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Allows Wireless Switch Changes (ワイヤレススイッチの変更を許可)</li> </ul>
<b>TPM Security</b>	<p>POST 中に、TPM (Trusted Platform Module) を有効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定: オプションは無効に設定されています。</p>
<b>Computrace</b>	<p>オプションである Computrace ソフトウェアを起動または無効にすることができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>非アクティブ化 (デフォルト設定)</li> <li>無効</li> <li>アクティブ化</li> </ul> <p> <b>メモ:</b> Activate (アクティブ化) および Disable (無効) オプションでは機能を永久的に起動または無効にするため、その後の変更はできません。</p>
<b>CPU XD Support</b>	<p>プロセッサの Execute Disable (実行無効) モードを有効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定: <b>Enable CPU XD Support</b> (CPU XD サポートを有効にする)</p>
<b>OROM Keyboard Access</b>	<p>起動中にホットキーを使用して Option ROM Configuration (オプション ROM 設定) 画面にアクセスできるようにするかどうかを設定できます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有効 (デフォルト設定)</li> <li>One Time Enable (1 回のみ有効)</li> <li>無効</li> </ul>
<b>Admin Setup Lockout</b>	<p>管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップユーティリティの起動を防止することができます。</p> <p>デフォルト設定: <b>無効</b></p>
<b>表 6. Secure Boot (安全起動)</b>	
<b>Secure Boot Enable</b>	<p>Secure Boot (安全起動) 機能を有効または無効にできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無効</li> </ul>

- 有効 (デフォルト設定)

 **メモ:** 安全起動を有効にするには、システムを UEFI 起動モードにして、レガシーオプション ROM の有効化をオフにする必要があります。

## Expert key Management

システムが Custom Mode (カスタムモード) の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。Enable Custom Mode (カスタムモードを有効にする) オプションはデフォルトで無効に設定されています。オプションは次のとおりです。

- PK
- KEK
- db
- dbx

Custom Mode (カスタムモード) を有効にすると、PK、KEK、db、および dbx の関連オプションが表示されます。このオプションは次のとおりです。

- Save to File (ファイルに保存) - ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。
- Replace from File (ファイルから交換) - 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと交換します。
- Append from File (ファイルから追加) - ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。
- Delete (削除) - 選択したキーを削除します。
- Reset All Keys (すべてのキーをリセット) - デフォルト設定にリセットします。
- Delete All Keys (すべてのキーを削除) - すべてのキーを削除します。


 **メモ:** Custom Mode (カスタムモード) を無効にすると、すべての変更が消去され、キーはデフォルト設定に復元されます。

表 7. パフォーマンス

オプション	説明
<b>Multi-Core Support</b>	このフィールドでは、プロセスが 1 つのコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。コアを追加することでアプリケーションのパフォーマンスが向上します。このオプションはデフォルトでは有効に設定されています。プロセッサのマルチコアサポートを有効または無効にすることができます。
<b>Intel SpeedStep</b>	Intel SpeedStep 機能を有効または無効にすることができます。 デフォルト設定: <b>Enable Intel SpeedStep</b> (Intel SpeedStep を有効にする)
<b>C States Control</b>	追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効にすることができます。

オプション	説明
	デフォルト設定：オプションの C ステータスは有効です。
Intel TurboBoost	プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。 デフォルト設定： <b>Enable Intel TurboBoost</b> (Intel TurboBoost を有効にする)
Hyper-Thread Control	ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。 デフォルト設定： <b>有効</b>


表 8. 電源管理

オプション	説明
AC Behavior	AC アダプタが接続されている場合に、コンピュータの電源が自動的に入るように設定できます。このオプションは無効に設定されています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Wake on AC</li> </ul>
Auto On Time	コンピュータが自動的に起動する時刻を設定することができます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>無効</b> (デフォルト設定)</li> <li>Every Day (毎日)</li> <li>Weekdays (平日)</li> <li>Select Days (選択した日)</li> </ul>
USB Wake Support	USB デバイスによって、コンピュータがスタンバイモードから復帰するように設定できます。このオプションは無効に設定されています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Enable USB Wake Support (USB ウェイクサポートを有効にする)</li> </ul>
Wireless Radio Control	WLAN および WWAN 無線を制御できます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Control WLAN radio (WLAN 無線の制御)</li> <li>Control WWAN radio (WWAN 無線の制御)</li> </ul> デフォルト設定：両方のオプションが無効に設定されています。
Wake on LAN/WLAN	特殊な LAN 信号でトリガーされると、電源オフの状態からコンピュータを起動させることができるオプションです。スタンバイ状態からのウェイクアップはこの設定の影響を受けず、オペレーティングシステムで有効にされている必要があります。この機能は、コンピュータを AC 電源に接続している場合にのみ有効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>Disabled</b> (無効) - LAN またはワイヤレス LAN からウェイクアップ信号を受信すると、特殊な LAN 信号によるシステムの起動が許可されなくなります。</li> <li>LAN Only (LAN のみ) - 特殊な LAN 信号によるシステムの起動を許可します。</li> <li>WLAN Only (WLAN のみ)</li> <li>LAN or WLAN (LAN または WLAN)</li> </ul>



オプション	説明
<b>Block Sleep</b>	<p>コンピュータがスリープ状態になるのを防ぐことができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Block Sleep (S3)</li> </ul>
<b>Peak Shift</b>	<p>ピークシフトを使用して、1日のピーク時の AC 消費を最小限に抑えることができます。ピークシフトモードの開始時刻と終了時刻を設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>Enable Peak Shift (ピークシフトを有効にする)</b> (無効)</li> </ul>
<b>Advanced Battery Charge Configuration</b>	<p>アドバンストバッテリー充電モードでシステムのバッテリーの性能を最大限に高めることができます。標準充電アルゴリズムと他のテクニックを使用して、非作業時間にバッテリーの性能を最大限に高めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>Enable Advanced Battery Charge Mode (アドバンストバッテリー充電モードを有効にする)</b> (無効)</li> </ul>
<b>Primary Battery Configuration</b>	<p>AC が接続されている場合に、バッテリー充電の使用方法を定義できます。このオプションを有効にするために、「アドバンストバッテリー充電モード」を無効にする必要があります。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>Adaptive (適応)</b> (有効)</li> <li>Standard Charge (標準充電)</li> <li>Express Charge (高速充電)</li> <li>Primary AC Use (主に AC を使用)</li> <li>Custom Charge (カスタム充電) – バッテリー充電時の充電率を設定できます。</li> </ul>
<b>Intel Smart Connect Technology</b>	<p>このオプションはデフォルトで無効に設定されています。オプションが有効の場合、システムがスリープ状態で近くのワイヤレス接続を定期的に感知します。これは、システムがスリープ状態になった時に開かれた E メールやソーシャルメディアアプリケーションを同期化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>Smart Connection (スマート接続)</b> (無効)</li> </ul>

表 9. POST 動作

オプション	説明
<b>Adapter Warnings</b>	<p>特定の電源アダプタを使用する場合に、アダプタの警告メッセージが表示されるように設定することができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Enable Adapter Warnings (アダプタの警告を有効にする)</li> </ul>
<b>Keypad (Embedded)</b>	<p>内蔵キーボードに組み込まれているキーパッドを有効にする 2 つのモードのうち、1 つを選択することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Fn Key Only (Fn キーのみ)</li> <li>By Numlock (Numlock を使用)</li> </ul> <p> <b>メモ:</b> セットアップの起動中は、このオプションの効果はなく、セットアップは、Fn Key Only (Fn キーのみ) モードで作動します。</p>
<b>Mouse/Touchpad</b>	<p>コンピュータによるマウスとタッチパッド入力の処理を定義できます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Serial Mouse (シリアルマウス)</li> </ul>

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>PS2 Mouse (PS2 マウス)</li> <li><b>Touchpad/PS-2 Mouse</b> (タッチパッド/PS-2 マウス) (デフォルト設定)</li> </ul>
<b>Numlock Enable</b>	<p>コンピュータの起動時に NumLock 機能を有効にするかどうかを指定します。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Enable Numlock (Numlock を有効にする)</li> </ul>
<b>Fn Key Emulation</b>	<p>PS-2 キーボードの &lt;Scroll Lock&gt; キー機能と内蔵キーボードの &lt;Fn&gt; キー機能を一致させることができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Enable Fn Key Emulation (Fn キーのエミュレートを有効にする)</li> </ul>
<b>Fn Lock Option</b>	<p>ホットキーの組み合わせのプライマリ動作を切り替えることができます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Fn Lock</li> <li>ロックモード無効 / 標準</li> <li>ロックモード有効 / セカンダリ</li> </ul>
<b>MEBx Hotkey</b>	<p>システムを起動する時に、MEBx ホットキー機能を有効にするかどうかを指定できます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
<b>Fastboot</b>	<p>一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Minimal (最小)</li> <li>Thorough (完全)</li> <li>Auto (自動)</li> </ul>
<b>Extended BIOS POST Time</b>	<p>プレブート遅延を追加で作成することができ、ユーザーは POST ステータスメッセージを見ることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>0 秒</li> <li>5 秒</li> <li>10 秒</li> </ul>

表 10. 仮想化サポート

オプション	説明
Virtualization	<p>Intel Virtualization Technology を有効または無効にすることができます。デフォルト設定：Enable Intel Virtualization Technology (Intel Virtualization Technology を有効にする)</p>
VT for Direct I/O	<p>ダイレクト I/O 用に Intel® Virtualization テクノロジーによって提供される付加的なハードウェア機能を仮想マシンモニター (VMM) が利用するかどうかを指定します。</p> <p>Enable VT for Direct I/O (ダイレクト I/O 用の仮想化テクノロジーを有効にする) – このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
Trusted Execution	<p>このオプションでは、Intel Trusted Execution Technology によって提供される付加的なハードウェア機能を Measured Virtual Machine Monitor</p>

オプション	説明
	(MVM)が利用できるようにするかどうかを指定します。この機能を使用するには、TPM Vitalization Technology、および VT for DirectI/O (直接 I/O 用の仮想化テクノロジー) を有効にする必要があります。 Trusted Execution – デフォルトで無効に設定されています。

表 11. ワイヤレス

オプション	説明
<b>Wireless Switch</b>	ワイヤレススイッチで制御できるワイヤレスデバイスを決定できます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• WWAN</li> <li>• WLAN</li> <li>• Bluetooth</li> <li>• GPS (WWAN モジュール)</li> </ul> すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。
<b>Wireless Device Enable</b>	ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• WWAN</li> <li>• Bluetooth</li> <li>• WLAN/WiGig</li> </ul> すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。

表 12. メンテナンス



オプション	説明
<b>Service Tag</b>	コンピュータのサービスタグを表示します。
<b>Asset Tag</b>	アセットタグがまだ設定されていない場合、システムアセットタグを作成することができます。このオプションはデフォルトでは設定されていません。

表 13. システムログ

オプション	説明
<b>BIOS events</b>	システムイベントログを表示し、そのログを消去することができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ログのクリア</li> </ul>
<b>Thermal Events</b>	サーマルイベントログを表示し、そのログを消去することができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ログのクリア</li> </ul>
<b>Power Events</b>	電源イベントログを表示し、そのログを消去することができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ログのクリア</li> </ul>

## BIOS のアップデート


システム基板の交換時または更新が可能な場合、BIOS (システムセットアップ) をアップデートされることをお勧めします。ラップトップの場合、お使いのコンピュータのバッテリーがフル充電されていて電源プラグに接続されていることを確認してください。


1. コンピュータを再起動します。
2. [dell.com/support](https://dell.com/support) にアクセスします。
3. サービスタグやエクスプレスサービスコードを入力し、送信をクリックします。
  -  **メモ:** サービスタグを見つけるには、**Where is my Service Tag? (サービスタグの検索)** をクリックします。
  -  **メモ:** サービスタグが見つからない場合は、**Detect My Product (マイプロダクトの検出)** をクリックします。画面上の説明に進みます。
4. サービスタグの検索または検出ができない場合、コンピュータの製品カテゴリをクリックします。
5. リストから **Product Type (製品のタイプ)** を選択します。
6. お使いのコンピュータモデルを選択すると、そのコンピュータの**製品サポートページ**が表示されます。
7. **Get drivers (ドライバを取得)** をクリックし、**View All Drivers (すべてのドライバを表示)** をクリックします。  
Drivers and Downloads (ドライバおよびダウンロード) ページが開きます。
8. ドライバおよびダウンロード画面で、**オペレーティングシステム**ドロップダウンリストから **BIOS** を選択します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで**ファイルをダウンロードします**をクリックします。  
アップデートが必要なドライバを分析することもできます。お使いの製品でこれを行うには、**Analyze System for Updates (アップデートが必要なシステムの分析)** をクリックし、画面の指示に従います。
10. **ダウンロード方法を以下から選択してください**ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、**Download File (ファイルのダウンロード)** をクリックします。  
ファイルのダウンロードウィンドウが表示されます。
11. ファイルをコンピュータに保存する場合は、**保存**をクリックします。
12. **実行**をクリックしてお使いのコンピュータに更新された BIOS 設定をインストールします。  
画面の指示に従います。


## システムパスワードおよびセットアップパスワード

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いのコンピュータを保護することができます。

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いのコンピュータの BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。


 **注意:** パスワード機能は、コンピュータ内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

 **注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

 **メモ:** お使いのシステムは、出荷時にシステムパスワードとセットアップパスワードの機能が無効に設定されています。

## システムパスワードおよびセットアップパスワードの割り当て

パスワードステータスが**ロック解除**の場合に限り、新しいシステムパスワードやセットアップパスワードの設定、または既存のシステムパスワードやセットアップパスワードの変更が可能です。パスワードステータスが**ロック**に設定されている場合、システムパスワードは変更できません。

 **メモ:** パスワードジャンプの設定を無効にすると、既存のシステムパスワードとセットアップパスワードは削除され、コンピュータへのログオン時にシステムパスワードを入力する必要がなくなります。

システムセットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

1. システム BIOS 画面またはシステムセットアップ画面で、システムセキュリティを選択し、<Enter> を押します。  
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面で **パスワードステータス** が **ロック解除** に設定されていることを確認します。
3. システムパスワードを選択してシステムパスワードを入力し、<Enter> または <Tab> を押します。  
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
  - パスワードの文字数は 32 文字までです。
  - 0 から 9 までの数字を含めることができます。
  - 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
  - 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、( )、( + )、( )、( - )、( )、( / )、( ; )、( | )、( \ )、( )、( )。

プロンプトが表示されたら、システムパスワードを再度入力します。

4. 入力したシステムパスワードをもう一度入力し、**OK** をクリックします。
5. **セットアップパスワード** を選択してシステムパスワードを入力し、<Enter> または <Tab> を押します。  
セットアップパスワードの再入力を求めるメッセージが表示されます。
6. 入力したセットアップパスワードをもう一度入力し、**OK** をクリックします。
7. <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
8. <Y> を押して変更を保存します。  
コンピューターが再起動します。

## 既存のシステムパスワードおよび / またはセットアップパスワードの削除または変更

既存のシステムパスワードおよび / またはセットアップパスワードを削除または変更する前に**パスワード状態**が**ロック解除**(システムセットアップで)になっていることを確認します。**パスワード状態**が**ロック**されている場合、既存のシステムパスワードまたはセットアップパスワードを削除または変更することはできません。

システムセットアップを入力するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

1. システム BIOS 画面またはシステムセットアップ画面で、システムセキュリティを選択し、<Enter> を押します。

システムセキュリティ画面が表示されます。

2. システムセキュリティ画面でパスワードステータスが**ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. システムパスワードを選択し、既存のシステムパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。
4. **セットアップパスワード**を選択し、既存のセットアップパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。



**メモ:** システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら新しいパスワードを再度入力してください。システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除する場合、プロンプトが表示されたら削除を確認してください。

5. <Esc> を押すと、変更の保存を要求するメッセージが表示されます。
6. <Y> を押して変更を保存しシステムセットアップを終了します。  
コンピューターが再起動します。


## 診断


コンピューターに問題が起こった場合、デルのテクニカルサポートに電話する前に ePSA 診断を実行してください。診断プログラムを実行する目的は、特別な装置を使用せず、データが失われる心配をすることなくコンピューターのハードウェアをテストすることです。お客様がご自分で問題を解決できない場合でも、サービスおよびサポート担当者が診断プログラムの結果を使って問題解決の手助けを行うことができます。

### ePSA（強化された起動前システムアセスメント）診断

ePSA 診断 (システム診断としても知られている) ではハードウェアの完全なチェックを実施します。ePSA には BIOS が埋め込まれており、内部的に BIOS によって起動されます。埋め込まれたシステム診断では以下のことが可能な特定のデバイスまたはデバイスグループにオプションのセットを提供します:

- テストを自動的に、または対話モードで実行
- テストの繰り返し
- テスト結果の表示または保存
- 詳細なテストで追加のテストオプションを実行し、障害の発生したデバイスに関する詳しい情報を得る
- テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示
- テスト中に発生した問題を通知するエラーメッセージを表示





 **注意:** システム診断は、お使いのコンピューターをテストする場合にのみ使用してください。このプログラムを他のコンピューターで使用すると、無効な結果やエラーメッセージが発生する場合があります。

 **メモ:** 特定のデバイスについてはユーザーの対話が必要なテストもあります。診断テストを実行する際にコンピューター端末の前に常にいなければなりません。

1. コンピューターの電源を入れます。
2. コンピューターが起動すると、Dell のロゴが表示されるように <F12> キーを押します。
3. 起動メニュー画面で、**診断** オプションを選択します。  
**ePSA 起動前システムアセスメント**ウィンドウが表示され、コンピューター内で検出された全デバイスがリストアップされます。診断が検出された全デバイスのテストを開始します。
4. 特定のデバイスで診断テストを実行する場合、<Esc> を押して **はい** をクリックし、診断テストを中止します。
5. 左のパネルからデバイスを選択し、**テストの実行**をクリックします。
6. 問題がある場合、エラーコードが表示されます。  
 エラーコードをメモしてデルに連絡してください。

## デバイスステータスライト

表 14. デバイスステータスライト

-  コンピュータに電源を入れると点灯し、コンピュータが省電力モードの場合は点滅します。
-  コンピュータがデータを読み取ったり、書き込んだりしている場合に点灯します。
-  点灯、または点滅してバッテリーの充電状態を示します。
-  ワイヤレスネットワークが有効の場合、点灯します。

デバイスのステータス LED は通常、キーボードの上部または左側にあります。ステータス LED は、ストレージ、バッテリー、およびワイヤレスデバイスの接続と動作を示すために使われます。そのほかにも、システムに潜在的な障害がある場合の診断ツールとしても役立ちます。

以下の表は、潜在的なエラーが生じた場合の LED コードの判読方法を示したものです。

表 15. LED ライト

ストレージ LED	電源 LED	ワイヤレス LED	障害の説明
点滅	点灯	点灯	プロセッサに障害が発生しています。
点灯	点滅	点灯	メモリモジュールが検出されましたが、エラーが発生しました。
点滅	点滅	点滅	システム基板に障害が発生しました。
点滅	点滅	点灯	グラフィックスカード、またはビデオに障害が発生しました。
点滅	点滅	オフ	ハードドライブを初期化するときにシステムに障害が発生したか、オプション ROM 初期化中に障害が発生しました。
点滅	オフ	点滅	USB コントローラの初期化中に問題が発生しました。
点灯	点滅	点滅	メモリモジュールが取り付けられていないか、検出されません。
点滅	点灯	点滅	初期化中、ディスプレイに問題が発生しました。
オフ	点滅	点滅	モデムの干渉により、システムの POST が完了できません。
オフ	点滅	オフ	メモリの初期化に失敗したか、メモリがサポートされていません。


## バッテリーステータスライト

コンピューターがコンセントに接続されている場合、バッテリーライトは次のように動作します。



黄色と白色が交互に点滅	認定されていない、またはサポートされていないデル以外の AC アダプターがラップトップに接続されている。
黄色が短く、白色が長く交互に点滅	AC アダプターに接続されており、一時的なバッテリーの不具合が発生した。
黄色が連続的に点滅	AC アダプターに接続されており、致命的なバッテリーの不具合が発生した。
消灯	AC アダプターに接続されており、バッテリーがフル充電モードになっている。
白色点灯	AC アダプターに接続されており、バッテリーが充電モードになっている。

# Specifications

 **NOTE:** 提供される内容は地域により異なる場合があります。以下の仕様は、コンピュータに同梱で出荷することが法律により定められている項目のみ示しています。コンピュータの構成の詳細については、Windows オペレーティングシステムのヘルプとサポートにアクセスして、コンピュータに関する情報を表示するオプションを選択してください。

**Table 16. System Information**

Feature	Specification
Chipset	Wildcat Point LP
DRAM bus width	64-bit
Flash EPROM	SPI 32 Mbits, 64 Mbits
PCIe bus	100 MHz
External Bus Frequency	DMI (5GT/s)

**Table 17. Processor**

Feature	Specification
Types	Intel Core i3 / i5 / i7
L3 cache	3 MB, 4MB, 6 MB, and 8 MB

**Table 18. Memory**


Feature	Specification
Memory connector	Two SODIMM slots
Memory capacity	2GB, 4GB, or 8GB
Memory type	DDR3L SDRAM (1600MHz)
Minimum memory	2 GB
Maximum memory	16 GB

**Table 19. Audio**

Feature	Specification
Type	Four-channel high-definition audio
Controller:	
<b>Latitude E7250/E7450</b>	Realtek ALC3235
<b>Latitude 7250/7450</b>	Realtek AL3234

Feature	Specification
Stereo conversion	24-bit (analog-to-digital and digital-to-analog)
Interface:	
Internal	High-definition audio
External	Microphone-in, stereo headphones, and headset combo connector
Speakers	Two
Internal speaker amplifier	2 W (RMS) per channel
Volume controls	Hot keys

**Table 20. Video**

Feature	Specification
Type	Integrated on system board
Controller:	
UMA	Intel HD Graphics 5500
Data bus	PCI-E Gen2 x4
External display support	<ul style="list-style-type: none"> <li>• one HDMI</li> <li>• one mDP</li> </ul>
	 <b>NOTE:</b> Supports one VGA, two DP/DVI ports through Docking station.

**Table 21. Camera**

Features	Specification
HD camera resolution	1280 x 720 pixels (Non Touch)
FHD camera resolution	1920 x 1080 pixels (Touch)
Video Resolution (maximum)	1280 x 720 pixels
Diagonal viewing angle	74 °

**Table 22. Communications**

Features	Specification
Network adapter	10/100/1000 Mb/s Ethernet (RJ-45)
Wireless	Internal wireless local area network (WLAN) and wireless wide area network (WWAN) <ul style="list-style-type: none"> <li>• Bluetooth 4.0</li> </ul>

**Table 23. Ports and Connectors**

Features	Specification
Audio	One microphone/stereo headphone/speakers connector
Video	<ul style="list-style-type: none"> <li>one HDMI</li> <li>one mDP</li> </ul>
Network adapter	RJ-45 connector
USB 3.0	One USB 3.0, one PowerShare
Memory card reader	Support upto SD4.0
Micro Subscriber Identity Module (uSIM) card	One
Docking port	One

**Table 24. Display**

Feature	Latitude 7250		Latitude 7450		
	HD	FHD W/Touch	HD	FHD	FHD W/Touch
Type					
Dimensions:					
Height	181.4 mm (7.14 inches)	194.9 mm (7.67 inches)	205.6 mm (8.09 inches)	205.6 mm (8.09 inches)	215.0 mm (8.46 inches)
Width	290.5 mm (11.4 inches)	302.8 mm (11.9 inches)	320.9 mm (12.6 inches)	320.9 mm (12.6 inches)	328.8 mm (12.9 inches)
Diagonal	3.0 mm (0.1 inch)	5.95 mm (0.23 inch)	3.0 mm (0.1 inch)	3.2 mm (0.1 inch)	4.15 mm (0.16inch)
Maximum resolution	1366 x 768	1920 x 1080	1366 x 768	1920 x 1080	1920 x 1080
Refresh rate	60 Hz/48 Hz	60 Hz/48 Hz	60 Hz/48 Hz	60 Hz/48 Hz	60 Hz/48 Hz
Minimum Viewing Angles:					
Horizontal	+/-40°	+/-80°	+/-40°	+/-80°	+/-80°
Vertical	+10°/-30°	+/-80°	+10°/-30°	+/-80°	+/-80°
Pixel pitch	0.2025 x 0.2025	0.144 x 0.144	0.2265 x 0.2265	0.161 x 0.161	0.161 x 0.161

**Table 25. Keyboard**

Feature	Specification
Number of keys	United States: 82 keys, United Kingdom: 83 keys, Brazil: 84 keys, and Japan: 86keys

**Table 26. Touchpad**

Feature	Specification	
	Latitude 7250	Latitude 7450
Active Area:		
X-axis	99.5 mm	99.5 mm
Y-axis	53.0 mm	53.0 mm

**Table 27. Battery**

Feature	Specification	
Type	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 3-cell Lithium Polymer battery with ExpressCharge</li> <li>• 4-cell Lithium Polymer battery with ExpressCharge</li> </ul>	
Dimensions:	<b>Latitude 7250</b>	<b>Latitude 7450</b>
3-cell/4-cell		
Depth	80.75 mm (3.18 inches)	74.75 mm (2.94 inches)
Height	7.20 mm (0.28 inch)	8.00 mm (0.31 inch)
Width	282.00 mm (11.10 inches)	308.50 mm (12.15 inches)
Weight:		
3-cell	250.00 g (0.55 lb)	247.00 g (0.54 lb)
4-cell	300.00 g (0.66 lb)	308.00 g (0.68 lb)
Voltage		
3-cell	11.10 VDC	
4-cell	7.40 VDC	
Temperature range:		
Operating	Charge: 0 °C to 50 °C (32 °F to 158 °F) Discharge: 0 °C to 70 °C ( 32 °F to 122 °F)	
Non-Operating	-20 °C to 65 °C (4 °F to 149 °F)	
Coin-cell battery	3 V CR2032 lithium coin cell	

**Table 28. AC Adapter**

Feature	Specification
Type	65 W and 90 W
Input voltage	90 VAC to 264 VAC
Input current (maximum)	1.50 A
Input frequency	47 Hz to 63 Hz

Feature	Specification
Output power	65 W and 90 W
Output current	3.34 A and 4.62 A
Rated output voltage	19.5 VDC
Weight	230 g (65 W) and 285 g (90 W)
Dimensions	107x46x29.5 mm (65W) / 130x66 x22 mm (90W)
Temperature range:	
Operating	0 °C to 40 °C (32 °F to 104 °F)
Non-Operating	-40 °C to 70 °C (-40 °F to 158 °F)

**Table 29. Physical**


Feature	Latitude 7250 Non-Touch	Latitude 7250 Touch	Latitude 7450 Non-Touch	Latitude 7450 Touch
Front Height	17.8 mm ( 0.70 inch)	17.8 mm ( 0.70 inch)	18.8 mm (0.74 inch)	18.8 mm (0.74 inch)
Back Height	19.4 mm (0.7 inch)	21.0 mm (0.8 inch)	20.4 mm (0.8 inch)	22.6 mm (0.88 inch)
Width	310.5 mm (12.22 inches)		337 mm (13.2 inches)	
Depth	211.0 mm (8.3 inches)		231.5 mm (9.1 inches)	
Weight (with 3-cell battery)	1.26 kg (2.79lb)	1.45 kg (3.21lb)	1.55 kg (3.42lb)	1.71 kg (3.77lb)
<b>Light Weight Configurable Items:</b>				
Weight Bound	1.42 kg (3.13lb)	1.57 kg (3.47lb)	1.61 kg (3.56lb)	1.80 kg (3.97lb)
Weight Target	1.32 kg (2.91lb)	1.52 kg (3.37lb)	1.60 kg (3.54lb)	1.74 kg (3.84lb)

**Table 30. Environmental**

Feature	Specification
Temperature:	
Operating	0 °C to 60 °C (32 °F to 140 °F)
Storage	-51 °C to 71 °C (-59 °F to 159 °F)
Relative humidity (maximum):	
Operating	10 % to 90 % (non condensing)
Storage	5 % to 95 % (non condensing)

<b>Feature</b>	<b>Specification</b>
Altitude (maximum):	
Operating	-15.2 m to 3048 m (-50 to 10,000 ft) 0° to 35°C
Non-Operating	-15.24 m to 10,668 m (-50 ft to 35,000 ft)
Airborne contaminant level	G2 or lower as defined by ISA S71.04-1985

## デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

**dell.com/contactdell** にアクセスします。